

城陽未来まちづくり会議 (55人委員会)



報告書

じょうりんちゃん

令和2年(2020年)1月

城陽市 企画管理部 秘書広報課

目次

第1章	城陽未来まちづくり会議の実施概要	1 頁
第2章	城陽未来まちづくり会議全体の流れ	3 頁
第3章	プロジェクトづくり	4 頁
第4章	各班のプロジェクト	5 頁
第5章	SWOT分析による戦略の検討	26 頁
第6章	城陽未来まちづくり会議の資料編	37 頁
第7章	事前アンケート結果	54 頁
第8章	城陽未来まちづくり会議参加者のアンケート結果	66 頁

第1章 城陽未来まちづくり会議の実施概要

1-1 会議開催の目的と位置づけ

城陽未来まちづくり会議は平成26年度から始まった取り組みです。これまで行政に声を届ける機会が少なかった市民の方に、市政への参加を促し、その意見を市政に取り入れること、またそのことを通じて、市民意識の高揚を図り、市民活動の担い手の掘り起こしにつなげることを目的に開催しています。従って、会議での意見については、諮問に対する答申や提言といったものではなく、「幅広い市民の声」として位置づけられるものとなります。

1-2 参加者について

○参加希望者の選定

住民基本台帳から市民1,800人を無作為に抽出し、城陽未来まちづくり会議への参加依頼書を送付しました。あわせて会議についてのアンケート調査を実施しました。

○参加募集の人数

参加募集の人数は55人です。城陽市（以下、「本市」）が京都と奈良のほぼ中間に位置し、古くから「五里五里の里」と呼ばれることにちなんで、55人としました。

○参加者の決定

参加依頼の結果、55人から参加承諾をいただき、参加者として決定しました。

○当日の参加者

参加決定した55人のうち、当日は49人が参加されました。

	久津川		古川		寺田		寺田南		寺田西		深谷		久世		今池		富野		青谷		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
10～20歳代	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	8
30歳代	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	8
40歳代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
50歳代	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5
60歳代	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	8
70歳代以上	1	1	0	1	1	0	1	0	3	0	4	2	0	1	0	0	1	0	0	1	17
男女別計	3	1	1	2	5	1	3	0	4	3	6	2	1	2	3	0	5	4	2	1	49
総計	4		3		6		3		7		8		3		3		9		3		

1-3 城陽未来まちづくり会議の概要

テ ー マ：「私が想う『NEW 城陽』」

開 催 日：令和元年 8 月 24 日（土） 10：00～16：00

開催場所：文化パーク城陽 東館 4 階 大会議室

会議形式：参加者を住まいの地域ごとに 7 つの班に分け、班ごとに意見交換を実施

会議内容：班ごとのアイデア出し、意見交換、意見の集約、企画立案、発表

1-4 会議における意見のまとめ

会議の前半は、本市の現状や課題、新名神高速道路のインパクトを活かしたまちづくりである「NEW 城陽」の取り組みについて解説し、参加者の住んでいる地域をさらに住みよくするため「NEW 城陽」にさらに必要なものについて現状分析を行うとともに、課題や良い部分を抽出しました。

後半は、各グループの意見を踏まえたうえで、再度地域における課題を抽出しました。課題を解決するためのアイデアを幅広く出しました。それらのアイデアを掛けあわせることで、新しい視点や自由な発想の企画を数多くいただくことができました。

今回の会議でいただいた意見に基づき、本市として取り組むべきものについては、すでに実施している施策との整合性を図り、施策への反映について検討することとします。また、本市の第 2 次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」を策定する際の参考資料として活用します。



第2章 城陽未来まちづくり会議全体の流れ

2-1 城陽未来まちづくり会議のタイムスケジュール

9:30~10:00	受付
10:00~10:15	市長挨拶等
10:15~10:35	グループ内自己紹介（20分間）
10:35~10:50	スケジュールの確認およびワークショップの進め方について（15分間）
10:50~11:10	『NEW城陽』について説明（20分間）
11:10~12:00	グループワーク：現状分析（50分間） ・良いところ（プラスの要素）、改善したいところ（マイナスの要素）について意見交換
12:00~13:00	昼食（他グループの意見観覧）
13:00~14:00	グループワーク：現状分析と整理（60分間） ・他グループの意見を踏まえ、再度現状分析・整理
14:00~15:00	グループワーク：発表に向けた意見のまとめ（60分間） ・発表するテーマを決めて、発表内容を検討
15:00~15:10	休憩（10分）
15:10~15:45	グループ発表（35分間（各グループ5分））
15:45~16:00	・総括 ・アンケート記入 ・閉会の挨拶（城陽市からの事務連絡） ・記念撮影

第3章 プロジェクトづくり

3-1 プロジェクトの作成にあたって

出されたアイデアを各班で共有し、これらのアイデアを活かしたコンセプト（私たちが想う「NEW城陽」）を考えていただきました。

また、もっと住みよい城陽にするために、考えたコンセプトを実施していくには、どの部分を良くするか、どのように進めるのか、誰が住みやすくなるのか（メインターゲット）について、具体的な内容を班で話し合い、プロジェクトを作成していただきました。

3-2 プロジェクト作成用紙の構成

私たちが住んでいる地域は こんなところ！		現状分析で出てきた 意見を書き出す。
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	な城陽	
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？	具体案について、実現 の可能性や資金など に縛られず、「自由な 発想」・「尖ったアイデ ア」を考える。
	どのように？	
	誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）	
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？	
	どのように？	
	誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）	
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？	
	どのように？	
	誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）	

第4章 各班のプロジェクト

1 班 地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、京都銀行久津川支店前の道路拡幅や交差点の改良、交通面については、さんさんバスの増便に関する意見が多くみられました。

教育については、古川小学校のトイレを全て洋式にするといった意見がみられたほか、久津川小学校、古川小学校区の子供が少ないので、学区の分け方を再検討するなどの対策をしてほしいとの声も聞かれました。

防災については、通学路での側溝フタ、舗装工事や府道 281 号八幡城陽線の浸水対策といった意見がみられました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	近鉄久津川～与楽まで車通りが多いのに信号がないから、狭い道なのにスピードを出す車が多くて事故が多そう。信号や保育園が立地しているという看板を設置してほしい。
		危ない交差点が多い。近鉄寺田駅の京都銀行近くの踏切を渡った丁字路、ライフの近くの小さな交差点、フレッシュバザールの田んぼへ出る出入りにミラーを付けてほしい。
		森酒店のところに車が通る道と小さな道がありますが、小さな道にバイクは通らないようにしてほしい（保育園へ行く人、子ども、犬の散歩、自転車が多いのでバイクは危ない）。
		狭い道路の電柱を地下にすれば、広く使える。
		京都銀行前の広い歩道を車道にした方が良くはないか。
		京都銀行久津川支店前の交差点の改良をしてほしい（右折レーンの設置など）。
		側溝フタ、舗装工事を早く進めてほしい（特に学校の通学路）。
		古川小学校への通学路、里ノ西で徳田医院の近くの整備。平川郵便局からフレッシュバザールへ向かう通学路の半分は歩道がない。車も多く危険なので、角の電気屋まで全て歩道をつくってほしい。
	鉄道	近鉄久津川駅の無人時間をなくしてほしい。
	バス	久津川にさんさんバスを走らせてほしい。市北部あたりを走ると便利になるのではないか。
		循環バスがもっと増えたら良い（城陽市の西側は本数が少ない）。
		西部地域のバス路線を増やしてほしい。
	教育	古川小学校のトイレを全て洋式にしたい。ほとんどの子どもたちは洋式トイレで育っているので、和式だと上手トイレが出来なくて我慢している子どもいる。
		久津川小学校、古川小学校区の子供が少ないので対策をほしい。
		学校の学区の分け方を再検討してほしい。
	防災	内水氾濫対策をほしい。大きな河川の対策以外にも、小さな溝の対策を行う。住宅地内での事象への対応をほしい。
府道281号八幡城陽線の浸水対策（西部地域、焼肉「六角」前）。		
景観	街灯の整備（街灯の間があきすぎて、夜になると暗い）。	
その他	野原などの北城陽地域の要望を聞いてもらえない。	
	若い人が転入しづらいので街並みづくりが必要。同志社山手みたいに興住宅地をつくり、新しい若い人たちの街にする。	

一方、良い点としては、文化パーク城陽が立地していること、体育館の無料開放といった取り組みなど、施設面が充実しているとの意見がみられました。

また、自然が多く、高いビルも少ないので景観が良い、新鮮な野菜がところどころで販売されているといった、豊かな自然と新鮮な農産物が手に入りやすいとの意見がみられました。

	分類	内容
良い	施設	文化パーク城陽はモノとして良い。
		鴻ノ巣のジムが安く良い。体育館の無料開放などの取り組みも良い。
	景観	景色が良い。
		城陽市は山や川があって、高いビルも少ないので景色が良い。
	農産物	ところどころで美味しく新鮮な野菜が安く売られているのは、すごく良いことで助かる。
	教育	待機児童が少ないのは良いこと。
医療・福祉	老人福祉センターが多くて良い。	
その他	昔に比べると便利になって良い。	
	優しい人が多い。世話好きな方が多く、若い人との交流が活発で地域事業も盛ん。	
解決策	施設	文化パーク城陽でやっているイベントのお知らせを駅とかで見ないので、もっとPRしたら良いと思う。
	観光	流れ橋のところに自動販売機を設置すれば、サイクリングで休む人が買ってくれるのではないかと（カロリーメイトなどの自動販売機を設置すれば売れるのではないかと）。



1 班が想う「NEW 城陽」

1 班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「みんなが元気な街な城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「近鉄久津川駅近辺の道」の道幅を広げ、近鉄を高架にすることが挙げられました。

2 つ目には、北西部のバスについては、近鉄寺田駅から出るバスがないため、高齢者の利用を想定したルートの新設するとの提案がありました。

3 つ目には、市民の声を聞き取り、情報共有できる仕組みづくりを挙げており、SNS の活用やスーパーなどに投票箱を設置するとの提案がありました。

私たちが住んでいる地域は こんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過ごしやすい土地 ・ 住む程に愛着が湧くまち
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	みんなが元気な街 な城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>近鉄久津川駅近辺の道</p>
	<p>どのように？</p> <p>道幅を広げる、近鉄を高架にする。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>利用する人達</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>北西部のバス</p>
	<p>どのように？</p> <p>ルートの新設</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>高齢者</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>市民の声を聞き取る、情報共有。</p>
	<p>どのように？</p> <p>SNSやスーパーなどに投票箱を設置する</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>市民全員</p>

2班 地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、寺田小学校の北側踏切に歩道がなくて危ないといった意見がみられました。交通面については、近鉄寺田駅に急行を停める、さんさんバスを充実させるといった声が聞かれました。

防災については、正道池の西南向かい側の溝が雨で溢れるなど、一時的な大雨に対する排水対策の徹底、スマートフォンなどのカメラ機能を用いて市内の交通・防犯・防災などで危険な箇所の情報を吸い上げる仕組みづくり、公共施設やショッピングモールにハザードマップを設置してほしいとの意見がみられました。

医療・福祉については、産婦人科を作ってほしい、子育て介護支援につなげるための二世帯住宅への補助といった意見がみられる一方で、高齢者施設は充実しているので今後利用する人向けのPRが必要との声が聞かれました。

教育については、小中学校のトイレを綺麗にしてほしいとの声が聞かれました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	歩行者、自転車の目線で道が狭い。
		踏切の歩道がなくて危ない。意見を取り入れるのは城陽市のシステムなので、自治会の意見を反映させる。
		寺田小学校の北側踏切で歩道がなくなり、車道を通らざるを得ない。子どもの安全が守られない状態が続いている。
	鉄道	近鉄寺田駅前の整備計画などについて進捗状況のPRが必要。
		城陽市の交通の中心点である近鉄寺田駅をどのように整備すれば良いか、将来を見据えたなかで計画すべき。
		近鉄寺田駅に急行が停まるようにしてほしい。
	バス	さんさんバスの充実。
	防災	正道池の水を抜くホールが小さい（池を掘って、深さを増やしている）。避難場所が開いていない。
		公共施設、ショッピングモールなど人目の付きやすい場所にハザードマップ（安全な場所）を設置すべき。
		アウトレットを開発しても、地域の活性化につながらないのではないか。天井川などの治水事業を充実させるべき。
		寺田正道の治水。正道池の西南向かい側の溝（川）が雨で溢れる。土砂降りの時は約10分で濁流となり、その後10分で溢れる（JRの線路下のホールが小さすぎるため）。
		異常気象など、一時的な大雨に対する排水対策などの徹底をしてほしい。
		写メで市内の危険な所、交通・防犯などの情報を吸い上げる仕組みづくり。危険の大きさ・頻度で優先順位をつける。
	医療・福祉	産婦人科がないので、出産できる環境がない。新名神高速道路ができて活性化と地元住民の住みやすさを区別できるようにしていただきたい。リアモーターカーが城陽市を通れば、温泉をアピールするなど。
城陽市に産婦人科がない。若い世代を呼び込むうえで不利である。出産できる施設を充実させるべき。		
産婦人科が無くなったので、里帰り出産・地元出産が出来ない。若い人の流出が続き、転入が見込めない。		
高齢者が利用できる施設は充実しているが、今後も増加する人々にもっと啓発が必要。		
	二世帯住宅の補助。親と子の所帯と一緒に住むことで、介護の手助け、子育ての手助けができる。	
施設	城陽市立体育館の予約方法について改善してほしい。空手教室でお世話になっているが、1か月前から予約できる現在のシステムをネットで予約出来たり、または数か月、数年先までまとめて予約できるとありがたい。	
教育	小学校・中学校のトイレを綺麗にしてほしい。綺麗にすれば子どもも掃除に励むのではないかな。	

一方、良い点としては、大阪や京都に近く交通の便が良い、古墳が多い、長池の自衛隊演習場を映画ロケ地に活用するなど、大阪や京都への交通アクセスの良さ、歴史資産や自衛隊演習場の活用についての意見がみられました。

そのほか、文化パーク城陽は母子の憩いの場となっていること、高齢者施設は充実しているなど、施設に関する意見もみられました。

	分類	内容
良い	観光	城陽市を「埴輪のまち」にする。古墳が多く発見されている。
		長池の自衛隊演習場を爆破のできる映画ロケ地として活用。
		京都サンガではなく城陽サンガにしたら応援する。ゴルフの石川遼選手が来たまちとしてPRする。
	施設	太陽が丘陵上競技場に屋根がついたのは良いと思う。
大阪や京都に比較的近く、交通の便は丁度良い。施設（スーパーなど）も充実していると思う。 高齢者施設は充実している。冷水器を文化パークに設置してほしい。文化パークは母子の憩いの場になっている。文化パークに夕刊を置いてほしい。		
車道・歩道	塚本深谷線ができて、とても便利になった。道路行政の有り難さが分かった。	
解決策	鉄道	金銀糸の技術を生かす。近鉄寺田駅に急行を停めてほしい。近鉄寺田駅周辺にマンションが出来れば急行が停まるかもしれない。
		近鉄寺田駅の名称を近鉄城陽に変更する。
		城陽市の計画道路、近鉄寺田駅の移転計画を進める。 城陽市の地理的状況から、リアの駅を城陽市に持って来て、松井山手と線路をつないで新京都市として活性化する。
	国際化	外国人労働者が住みやすいまちづくり・交流（文化など）。
		国際化を図る。企業誘致に伴い、外国人労働者の増加、地域の人々との交流を図る。 姉妹都市をつくる（トルコのテキルダール市、フランスのフレヌ市）。
	企業誘致	城陽市に企業の工場を建設する。工場働く人の住むところをつくれれば、人が増えて地域活性化につながる。
		中国や韓国から城陽市へ企業を誘致する。トヨタや最大手企業を誘致する。
観光	芭蕉、丸塚、車塚、下大谷、上大谷、芝ヶ原、正道官衛、平川廃寺跡、久世廃寺跡、もっと上手に宣伝して旅行者、マニアを呼び込む。	
	長池の宿を作り、外国人旅行者を城陽の古墳地区へ案内する。	
施設	熱中症予防として、冷水器を市の施設に設置し充実する。	
その他	市政	55人会議は地域の苦情を言う場というより、夢を提案する位置づけ。 苦情はこの会議で声を聞かなくても、たくさん寄せられているはず。もっと将来のビジョンを語る場にしてはどうか。
		国際化



2班が想う「NEW 城陽」

2班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「住民ファーストな城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「道路の拡幅、治水の推進」を挙げており、道路の拡幅、スマートフォンなどのカメラ機能を用いて市内の交通・防犯・防災などで危険な箇所の情報を吸い上げる仕組みづくりを進める提案がありました。

2つ目には、独身から子育て世帯まで住みやすくすることを挙げており、産婦人科を作る、小学校のトイレを綺麗にする、市主催による梅まつりや秋の花火大会での婚活イベント開催などの提案がありました。

3つ目には、税収や転入者の増加を挙げており、アウトレット整備や新名神高速道路の開通に伴う企業誘致による雇用創出、近鉄寺田駅に急行を停める、リニアモーターカーや北陸新幹線の駅を新設しJR松井山手駅までつなぐといった提案がありました。

私たちが住んでいる地域は こんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> • 車道や歩道が狭い • 産婦人科がないが、高齢者施設は充実している • 大阪や京都に近く、交通の便が良い
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	住民ファースト な城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 道路の拡幅、治水の推進
	どのように？ 自治体が市民からの意見を吸収する仕組みづくり、危険な箇所を写メで送信し、ハザードマップに反映させる。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) すべての世代
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 独身から子育て世帯まで住みやすくする
	どのように？ 産婦人科を作る、小学校のトイレを綺麗にする、市主催で、商店街と連携しながら梅まつりや秋の花火大会に婚活イベントを開催する。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) 独身者、子育て世帯
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 税収・転入者を増やす
	どのように？ アウトレット整備、新名神高速道路開通に伴う雇用創出。近鉄寺田駅に急行を停車する、リニアや新幹線の駅をつくり、北陸新幹線のJR松井山手駅までつなぐ。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) 若い世代

3 班

地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、生活道路の整備が行われておらず、子どもの通学や買物が不便であるといった意見がみられました。

鉄道・バスについては、近鉄寺田駅に急行を停める、近鉄寺田駅からバスやタクシー乗り場が遠いので早期整備を求める意見がみられたほか、近鉄寺田駅周辺に飲食店がなく、活気がないとの声も聞かれました。

施設については、文化パーク城陽の休館日をなくすなど、公共施設の運営を柔軟にしてほしいとの意見がみられました。そのほか、防災対策については、市道 201 号線、念佛寺前の冠水を改善してほしいとの意見がみられました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	生活道路の整備が行われていないため、子どもの通学にも不便を感じている。
		生活関連道路の改善がなされていない。例えば、ライフへの北東からの進入路、スーパー山田屋富野荘店への寺田からの進入路。
		河川拡幅工事で通行止めがあるので、交通の流れが変わり住宅街での事故が増えているように思う。
		城陽市内での木津川を渡る一般道がない。
		近鉄寺田駅北で京都銀行前の踏切に一旦停止を設けてほしい。
		寺田地区の車道や歩道といった生活道路の幅を広くしてほしい。上津屋～深谷線の接ぎ方の改善。
		弘願寺南の丁字路のカーブミラーが見通せない。
		小学校への通学路の危険度を改善してほしい。
		近鉄寺田駅までの歩きにくさを改善してほしい。
		サンフォルテ城陽への交通が完備していないため、発展がみられない。
	夜間の文化パーク周辺の照明が暗すぎる。夜の散歩も暗すぎて危険である。昼夜ともふれあいの場に行けないか。	
	鉄道	近鉄寺田駅に急行を停めてほしい。
		近鉄寺田駅周辺の早期整備。
		近鉄寺田駅周辺の活気が足りない（飲食店など）。外食時は車を利用するが、電車で出かけるかは分からない。
	バス	近鉄寺田駅からバスやタクシー乗り場が遠い。駅周辺の整備にこれらの乗り場の設置は含まれるのでしょうか。
		公共交通機関の不足。
	施設	文化パーク城陽の休館日をなくしてほしい。いつでも行ける場所にしてほしい。
		各施設の紹介をしてほしい。もっとPRをすれば良いと思う。
		公共施設の運営を柔軟にしてほしい（コミュニティセンター、テニスコートなど）。テニスコートは定休日が祝日のため、休みなのに利用できない。
	防災	豪雨の際、水路から水があふれる。工事今の今が一番怖い。
市道201号線の冠水、念佛寺前の冠水を改善してほしい。4～5年前に3自治会の連名で申請書を提出済みである。		
買物	ライフの商品価格が高い（ライバル店が少ないためか？）。近鉄寺田駅の近くに食品スーパーをつくってほしい。	
	イズミヤがつぶれるのではないかと心配。人の入りが非常に少なくなっている。	
その他	自治会からの脱退者が増えてきている。	
	資金の問題なのか、小手先の改善が多く思い切った改善がなされていない。	
	役員の業務が多いためか、自治会を退会する人が多い。住人がすべて入会できる仕組みにできないか。	
	住民がお互い積極的に会話していくようになったら良いと思う。	
	朝の挨拶を勇気をもって交わすこと。	
	ゴミの収納方法が悪い（時刻や場所の見直し）。カラスが多い。	
	市役所が土曜休みなので不便である。	
百円橋の無料化をしてほしい。		

一方、良い点としては、さんさんバスの利用価値が上がっているとの意見がみられました。

また、夜が静かで過ごしやすい、都会でも田舎でもないところが好きといった、程よく自然が残っているところが魅力であるとの意見がみられました。

農産物については、旬菜市で地元の野菜などが手に入りやすいことを挙げており、いも畑やいちじく畑を残してほしいとの意見がみられました。

	分類	内容	
良い	バス	さんさんバスの利用価値が上がっている。	
	農産物	地元の野菜などが手に入りやすい。旬菜市の存在をもっと広報してはどうか。 いも畑やいちじく畑を残してほしい。	
	その他	夜が静かで過ごしやすい。今後、大きな道路が増えることでうるさい環境にならないか心配。 都会でも田舎でもないところが好き。	
解決策	情報発信	城陽市に住もうと思うようなビジョンを市民に発信してはどうか。 城陽市に住みづつきたいと思うには何が必要かを考えたときに、満足度がある。市役所が考えるまちづくりや未来像をもっとこまめにPRしてはどうか。	
	施設	サンフォルテ城陽に体験型の道の駅をつくってはどうか。 家族で楽しめるグラウンドゴルフ場をつくる。	
	観光	年間を通じて観光事業を今からつくりあげる。現在の短期での観光事業を残しつつ、食文化を中心に、年中誰でも楽しめるものにする。	
	農産物	地産地消の文化を育てる（野菜など）。	
	教育	地域（小学校区）に1つの保育園をつくる。	
	その他		静かな住宅環境を守る。 ベッドタウンとして生き残るのなら、住みやすさを追求する。 少子化を見据えた将来のまちづくりを考えてほしい。



3班が想う「NEW 城陽」

3班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「ベッドタウンとして最適な城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「道路環境を良くすること」を挙げており、本市から大阪方面のアクセスをしやすく、安全に生活できるよう、橋の無料化、信号機やミラーの設置、道路を拡幅するとの提案がありました。

2つ目には、生活環境を良くすることを挙げており、農産物の直売のほか、空き家整備、防災対策の強化、カラス対策やごみ捨て場の見直し、市役所窓口の土曜営業といった提案がみられました。

3つ目には、子育て環境を良くすることを挙げており、小学校区ごとの保育園の設置、通学路を安全にするなどの提案がありました。

<p>私たちが住んでいる地域はこんなところ！</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近鉄寺田駅西部の平坦地 夜は静かで安心、住みやすい 地元の野菜が食べられる
<p>私たちが想う「NEW城陽」のサブタイトル</p>	<p>ベッドタウンとして最適な城陽</p>
<p>私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)</p>	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>道路環境</p>
	<p>どのように？</p> <p>城陽市から大阪方面へアクセスしやすく、安全に生活ができるようにする。橋（木津川）・百円橋の無料化、信号機やミラーの設置、道路の拡幅</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）</p> <p>城陽市に住みつつ大阪等へ通勤する人とその家族など、市民全員</p>
<p>私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)</p>	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>生活環境</p>
	<p>どのように？</p> <p>農産物の直売、無料配布（道の駅の設置）、空き家整備、防災面の強化、カラス対策、ごみ捨て場の見直し、市役所窓口を土曜日も営業する。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）</p> <p>市民全員</p>
<p>私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)</p>	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>子育て環境</p>
	<p>どのように？</p> <p>小学校区毎に保育園を設置する（駅付近の保育園）、通学路を安全にする</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？（メインターゲット）</p> <p>子育て世代</p>

4 班 地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、京都銀行久津川支店前の道路拡幅や右折ゾーンの設置、近鉄久津川駅前の道路が渋滞するとの意見がみられました。

鉄道・バスについては、JR 城陽駅付近の踏切の閉まる時間を短縮してほしい、宮ノ谷から JR 城陽駅までのバスがほしい（車がない人にとっては買い物が不便）との意見がみられました。

医療・福祉については、自宅のバリアフリー化や子育てに対する補助金の充実、高齢者向けの支援（介護、認知症の増加と徘徊に伴う事故の補償など）といった声がありました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	道幅が狭いところが多い。
		京都銀行久津川支店前の道路を拡幅、右折ゾーンの設置。近鉄久津川駅までの道路の拡幅。
		丘陵地のため、道路から玄関まで階段が多い。
		近鉄久津川駅前の道路で、信号や踏切が重なり渋滞が絶えない（特に夕方と雨の日）。
	鉄道	城陽市の表玄関が必要（JR城陽駅または近鉄寺田駅）。
		JR城陽駅の複線化により、東西の移動が踏切で足止めされる可能性がある。
		JR城陽駅付近の踏切の閉まる時間を短縮してほしい。
	バス	宮ノ谷からJR城陽駅までバスがほしい。車がない人からすると、スーパーへ買い物に行くのも一苦労。
	医療・福祉	丘陵地に住んでいるため、自宅をバリアフリー化するときに補助金を出してほしい。
		子育てに対する補助をしてほしい（枚方市と比較して）。
		高齢化に伴う認知症の増加と徘徊に伴う事故の補償のための保険加入（城陽市として）。
		高齢者2人暮らしで、介護があれば自治体のイベントに参加できない。天災などいざというときに何もしてくれない。
	その他	行政の進め方が遅い。計画はあるが実行が遅い。
		バイパスの交通整備の話は聞くが、なかなか開発が進んでいない。計画の割に職員の行動が遅い。
		様々な開発が計画されているが、予算がないのが行動が遅い。
		市の取り組みが抽象的で、同じことが書いてある。精華町などは市政の説明が分かりやすい。
		自治会の事務をしてくれる企業があるものの、依頼する予算がない。
深谷・尼塚エリアの公園にごみ箱がない。		
北公園（宮ノ谷）にトイレを作ってほしい。		
宮ノ谷に交番を作ってほしい。		
地区行事が少ない。近隣との交流が少ない。		



一方、良い点としては、他市と比べて天災や事件が少ないといった意見がみられたほか、水が美味しい、太陽が丘や鴻ノ巣山運動公園が近くにあるなど、住環境が良いという声も聞かれました。

また、京都や奈良への交通の便が良いので、JR 城陽駅の複線化を進めて、本市の玄関口とする取り組みは良いことであるとの意見がみられました。

	分類	内容
良い	鉄道	城陽市の玄関口がない。JR城陽駅が玄関口として適切だと思うので、複線化は良いこと。
	アクセス	京都、奈良への交通の便が良い。
	安全・安心	天災が少ない。 他市と比べて事件が少ない。
	教育	学童保育があって助かっている。
	その他	市役所、商工会議所の整備が行き届いている。 水が美味しい。 正道遺跡、太陽が丘、鴻ノ巣運動公園が近くにあり、住環境が良い。 他市に比べて環境が良い。



4班が想う「NEW 城陽」

4班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「企業を育て、自然豊かな城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「寺田塚本地区やバイパス周辺の区画整理、長池周辺の開発・区画整理事業」を挙げており、新名神高速道路を活かした企業誘致による雇用増加、京都府との連携による府関係の各種学校を設置するとの提案がありました。

2つ目には、城陽と聞けば連想できるブランドを作ること、サンガタウンとして徹底して盛り上げていくことを挙げており、競技場でのサッカー教室や祭りの開催、ファンクラブとの交流活発化により公共交通機関の利用者を増やし、本市をPRするといった提案がありました。

私たちが住んでいる地域はこんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深谷地域は城陽市の山手にある ・ 交通の便が悪く、買物に不便なところ ・ 水が美味しい ・ 災害がない ・ 自然が豊かで、うぐいす等が生息している
私たちが想う「NEW城陽」のサブタイトル	企業を育て、自然豊かな城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>寺田塚本地区やバイパス周辺の区画整理、長池周辺を切り開いて、区画整理事業を行う</p>
	<p>どのように？</p> <p>新名神高速道路を活かして、物流センターなどの企業誘致、働き口の増加。 京都府との連携による府関係の各種学校の設置。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>20代、30代の若い世代の転入(ベッドタウン)</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>城陽市にこれといった名物がなく、いちじくや梅ぐらいしかない。もっと徹底したサンガタウンへ！</p>
	<p>どのように？</p> <p>サッカー場の建設と京都サンガを広告にした来場誘致、サッカー教室や競技場での祭りなど、ファンクラブの活発化による駅や公共機関の利用者を増やし、城陽というまちを知ってもらう(JRの複線化事業もあるため)。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>スポーツに興味のある方 家族連れの方</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなればもっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p>
	<p>どのように？</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p>

5班 地域の現状分析

地域における課題として、交通機関については、高齢者の自動車運転免許返納後を見据えて、交通機関を整備してほしいといった意見がみられました。

また、「城陽市と言えばこれ」と言えるものがないので、堤防を活かしたミニマラソンなど、本市ならではのイベントを開催してほしいとの声が聞かれました。

医療・福祉については、介護職系の給料をアップして、待遇を良くするとの意見がみられ、本市から他市町村へ転出した人が、定年後などに帰ってきたいと思えるまちづくりに取り組んでほしいとの声が聞かれました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	近鉄久津川駅周辺の混雑を改善してほしい。スーパーの前が歩きづらい。
	交通機関	高齢になって免許を返納した時の交通機関を利用する場合、城陽市役所や保健センターなどへ行く交通機関を整備してほしい。
		私の住んでいるところは交通が不便である。バスの停留場まで坂道のため、少々時間がかかり、バスの本数が気にかかる（久世緑ヶ丘）。
	イベント	城陽市ならではのイベントをしてほしい。例えば、堤防を活かした超ミニマラソン、ミスコン、出会いの場の提供（ミニ婚活、育児相談、ママ友作り、定年後の趣味）、音楽・美術、いちじく大食い大会など。
		夏フェスを開催してほしい（食のイベントや音楽など）。
	ブランド化	城陽市と言えばこれ！と言えるものがない。
	アクセス	通過交通の懸念として、城陽市からどこにでも行けてしまう。
	情報発信	市民向けの広報がほしい。他の地域と比べると城陽市の知名度が低い。
	教育	学習ルームをもっと作ってほしい。ワンコイン料金ですついられるような場所がほしい。
医療・福祉	介護職系の給料をアップしてほしい（高優遇にする）。	
その他	人口の流出は止められないので、定年後などに帰ってきたいと思える城陽市づくり、長期的視野に立った取り組みをしてほしい。	
	京都サンガにもっと強くなってほしい。	



一方、良い点としては、鉄道・道路の便が良く住みやすい、自然が多く、空気や水が美味しいといった意見がみられました。

寺田いもやいちじく、梅、花しょうぶなど、地元特産品が豊富であるとの意見がみられました。

	分類	内容
良い	アクセス	五里五里の里として、もっと大阪へのアクセスを良くする。 小さい公園が多くある。鉄道、道路の便が良く、住みやすい。
	自然環境	城陽市は自然が多く、交通は不便だけど空気や水が美味しい。
	その他	城陽市職員の対応がとても良い。 外国人労働者の受入対応では、日本語教室など頑張っていると思う。
解決策	農産物	寺田いもを使った写真映えするスイーツを作る。
		花しょうぶ、カキツバタ以外の水生植物も生産してほしい。河骨、河原なでこ、睡蓮など。
		いちじくはどうやって食べれば美味しいか、食べ方をプロデュースする。
	ブランド化	城陽市のブランド化を進める（城陽の大福を例えば、いちじくの形にしたり、中にいちじくを入れる。城陽の麺ラー（ラーメンやうどんなどのお店を巡るスタンプラー））。
		城陽ってどこ？に対する答えを作る。
		インスタ映えするかき氷を作る。
	教育	小学校や中学校などでもっと手話や点字に触れる機会を増やす。
		子育てのための児童館の対応が良いので増やしてほしい。
		幼児・学童向け施策の充実（子ども食堂など）。
医療・福祉	保育園と老人ホームの併設を増やし、利用料を安くする。	
	高齢者が多い地域なので、高齢者の対応の仕方について考える。	
情報発信	情報発信のため、ミニFM局を作る。	
施設	スポーツ施設や文化施設のハブ施設を市南部にもつってほしい。	
自然環境	城陽の自然が少なくなるのは嫌。	
その他	ゆるキャラが可愛くない（擬人化してみてもどうか）。	



5班が想う「NEW 城陽」

5班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「太陽のお城 城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「交通弱者を救うこと」を挙げており、循環バスの増便など、高齢者が免許返納後に利用できる公共交通機関を充実させるとの提案がありました。

2つ目には、城陽のブランド化を挙げており、いちじくなどの地元農産物を活用した写真映えするスイーツの開発や食べ方のプロデュース、地元農産物を給食で提供することで地元愛を育み、これらの取り組みを、SNSを活用して情報発信するとの提案がありました。

3つ目には、安心・安全に子育てができる環境づくりを挙げており、市の補助金の周知、子どもを預けられる保育園における保育士の給料をアップするとの提案がありました。

私たちが住んでいる地域は こんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> • 循環バスの本数が少ない • 鉄道や道路の便も良く、住みやすい • 自然が多く、空気や水が美味しい • いちじく、寺田いも、梅等の特産物が豊富
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	太陽のお城 城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>交通弱者を救う</p>
	<p>どのように？</p> <p>高齢者が多い地域なので、高齢者の対応について考える。循環バスの増便、高齢者が免許返納後に利用できる公共交通機関を充実させる。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>高齢者</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>城陽のブランド化</p>
	<p>どのように？</p> <p>いちじく、寺田いも、梅等の活用。いちじく大福、寺田いもスイーツなど写真映えする商品開発、食べ方のプロデュースを行う。地元農産物を給食で提供し、地元愛を育む。Youtube等のSNSを活用した情報発信。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>市民全員</p>
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	<p>どの部分を良くするか？</p> <p>安全・安心して子育てできる環境</p>
	<p>どのように？</p> <p>市の補助金を周知する。子どもを預けられる保育園の融通を利かせる。保育士の給料アップなど働く人にとってメリットを付ける。</p>
	<p>誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)</p> <p>子育て世代</p>

6班 地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、通学路の確保、幹線道路の渋滞、富野小学校から近鉄富野荘駅までの道が細いとの意見がみられました。

医療・福祉については、医療機関の充実（産科、小児科）といった意見がみられました。情報発信については、市民に情報が入ってこない、特産品などのPR、イベント情報の効率的な発信（LINEなどのSNSを活用する）といった意見がみられました。

そのほか、近鉄富野荘駅前にお店が少なく、活気がないので商業施設を設置してほしいとの意見がみられました。

	ジャンル	内容
課題	車道・歩道	通学路の確保をしっかりとしてほしい。
		幹線道路の渋滞。
		車道が狭い（歩道も）。
		富野荘小学校から近鉄富野荘駅までの道が細い。
	情報発信	市民に情報が入ってこない。
		アウトレットなどに特産品を使った商業施設をPRすべき。
		特産品などの情報が市民に伝わっていない。
		イベント情報の効率的な発信（LINEなどのSNSの活用）。
		いちじくなどの農作物も市が取りまとめPRをしてほしい。
	医療・福祉	医療機関を充実させる。
		医療問題（産科、小児科）。
	その他	近鉄富野荘駅付近の発展。
		駅前に活気がない（商業施設がもっとほしい）。
近鉄富野荘駅前にお店が少なく駅前感がない。		



一方、良い点としては、自然が多い、スーパーが多い、若い世代には城陽愛が深い人も多いといった意見がみられました。そのほか、コミュニティセンターは人が集まる場所であるといった施設に関する意見がみられました。

	ジャンル	内容
良い	自然環境	自然が多い。
		自然環境の良さを生かしてほしい。
	買物	スーパーが多い。
	その他	住環境が静かでのんびりしている。 若い世代には城陽愛が深い人も意外と多い。
解決策	施設	人が集まれる場所づくり。スポーツ公園などを作る。
		コミュニティセンターなどを有効利用して、情報収集の場にしてほしいと思う。
		コミュニティセンターなどに併設させたスポーツ施設や若者の集まれるスポーツ場を作って、活気のあるまちに見えるようにする。
	情報発信	SNSを活用してイベント情報などを発信する。
		アウトレットと協力して知名度をアップする。特産品ブースなども設置すれば良い。 農家にも優しい対策、PR支援。
農産物	いちじくを使った地域活性化。	
その他	公園の遊具のメンテナンス。	



6班が想う「NEW 城陽」

6班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「5世代が楽しむまち 城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「人が集まる施設、憩いの場をつくること」を挙げており、公園やコミュニティセンターなどに併設のカフェスペースをつくることで、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まるとの提案がありました。

2つ目には、イベントなどの情報発信を増やすことを挙げており、若者世代には城陽愛が深い人も多いので、LINEなどのSNS活用により、イベントや農産物などの本市の魅力をPRしていくとの提案がありました。

私たちが住んでいる地域は こんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が多い • 名物となる農産物がある • 静かなまち • 道路が狭い • 医療機関が充実
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	5世代が楽しむまち 城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 人が集まる施設、憩いの場をつくる
	どのように？ 公園、コミュニティセンター、図書館などに併設 のカフェスペースをつくる。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) 子どもからお年寄りまで
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ イベントなどの情報発信を増やす。
	どのように？ LINEなどのSNSを活用する。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) 若者世代
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？
	どのように？
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット)

7 班

地域の現状分析

地域における課題として、車道・歩道については、南城陽バイパスは必要である、細い道路が多く渋滞や事故などが心配、観光バスが入れないとの意見がみられました。

鉄道やバスについては、JR 奈良線の複線化は必要である、さんさんバスを増便してほしいとの意見がみられました。商業面では、お店が少なく活気がないので、個人事業主に優しい制度をつくるとの意見がみられました。

イベントについては、梅まつりをもっと派手にPR する、防災については、河川氾濫時の避難所増設とその周知をするといった、情報発信の強化についての意見がみられました。

	分類	内容
課題	車道・歩道	自動車や自転車の交通マナーの向上。
		南城陽バイパスが必要。一方、渋滞や事故などが心配。細い道路が多く、生活道路が危険になるのではないか。
		観光バスが入れない。
	鉄道	JR奈良線の複線化が必要。
		JR奈良線を複線化してほしい。道路が渋滞する。
		JR奈良線の便が悪い。
	バス	さんさんバスの本数が少ない。
	商業	お店が少なく活気がない。個人事業主に優しい制度。
	就職	就職するところが少ない。
	防災	河川氾濫時の避難所の増設と周知。
その他	新しい住宅地が少なく、人口流入がにくいエリアとなっている。	
	住民税が高い。	
	まちづくり美化。	



一方、良い点としては、鉄道や車道・歩道については、JR 奈良線の複線化や新名神高速道路の開通は、アクセスが向上するので良いことであるとの意見がみられました。

また、アウトレットの建設により、市外から人を呼び込むことが期待できるとの声も聞かれました。

そのほか、自然環境については、自然が残っており、静かで住みやすいとの意見がみられました。農業については、本市の南部や青谷エリアは農業が充実しているので、農業体験を通じて魅力を伝える施設があると良いのではないかといい意見もみられました。

	分類	内容
良 い	鉄道、 車道・歩道	JR奈良線の複線化や新名神高速道路の開通は良いこと。
	自然環境	自然が残っていることは良いところ。 自然が多い。
	農産物	城陽南部や青谷エリアなどは農業が充実しており、魅力となりうる。農業体験施設などがあると良いのではないかと。
	企業誘致	アウトレットの建設は良いこと。
	情報発信	梅まつりをもっと派手にPRしたら良い。
	その他	静かで住みやすい。
解 決 策	バス	さんさんバスの増便。
	企業誘致	企業（メーカー）、工場の誘致。 企業誘致（若い世代対策）。
	住環境	ベッドタウンとして生き残る。
	観光	映画ロケ地をつくる。
	イベント	ポケモンGOや京都大作戦のような毎年恒例のイベントをつくる。
	情報発信	観光ポイントのアピール、城陽市のイベント発信。
	医療・福祉	産婦人科を作る。



7班が想う「NEW 城陽」

7班が想う「NEW 城陽」のサブタイトルとして、「やっぱええな城陽」を掲げています。「NEW 城陽」の実現に向けた具体案として、まずはじめに「道路や JR、近鉄、バスの利便性向上」を挙げており、JR 奈良線の複線化、新名神高速道路の開通、南城陽バイパスの開通により、アクセスを更に良くしていくとの提案がありました。

2つ目には、情報発信を挙げており、観光スポットやイベントなどの情報を SNS、新聞、選挙カーでの呼びかけなど、すべての年代に届くように工夫するとの提案がありました。

3つ目には、誘致を挙げており、企業や工場、大学の誘致により、若い世代（働く世代、学生）を呼び込むことで、必然的に利便性も向上していくことが期待されるとの提案がありました。

私たちが住んでいる地域は こんなところ！	<ul style="list-style-type: none"> 程よい自然と程よいワクワク感
私たちが想う「NEW城陽」の サブタイトル	やっぱええ な城陽
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案① (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 道路やJR、近鉄、バスの利便性向上
	どのように？
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) すべての年代にとってプラス
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案② (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 情報発信
	どのように？ SNS、新聞、選挙カーでの呼びかけ。
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) すべての年代に届くような工夫で、みんなが 住みやすく！
私たちが考えるNEW城陽！ 具体案③ (ここが良くなれば もっと住みやすくなる！)	どの部分を良くするか？ 誘致
	どのように？
	誰が住みやすくなるか？(メインターゲット) 若い世代（働く世代・学生）を呼び込むことで、 必然的に利便性が上がる。

第5章 SWOT分析による戦略の検討

5-1 SWOT分析による戦略の検討

(1) SWOT分析とは

SWOT分析とは、将来進むべき方向や対策を検討するために、現状や予想される環境変化をプラス要素とマイナス要素、内部環境と外部環境の視点から、内部環境を「強み」(Strengths)と「弱み」(Weaknesses)、外部環境を「機会」(Opportunities)と「脅威」(Threats)の4つのカテゴリーに分類し、整理する手法です。

(2) SWOT分析の考え方

Step1：現状分析

- まず、本市の特性や課題である内部環境について、「S：強み」「W：弱み」に分類します。続いて、社会情勢の変化である外部環境について、「O：機会」「T：脅威」に分類します。

	プラス要素	マイナス要素
内部環境	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
	城陽市が他の地域に比べて優位にあるところ、優れた点	城陽市が他の地域に比べて劣っているところ、苦手なところ
外部環境	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	城陽市に有利に働く変化	城陽市に不利に働く変化



Step2：クロス分析

- 現状分析後、①「O：機会×S：強み」、②「O：機会×W：弱み」、③「T：脅威×S：強み」、④「T：脅威×W：弱み」について、クロス分析を行います。



Step3：戦略の立案

- ①「O：機会×S：強み」のクロス分析から、強みを活かして機会を取り込む「強化戦略」として、何が考えられるか検討します。
- ②「O：機会×W：弱み」のクロス分析から、弱みを補強して機会を捉える「補強戦略」として、何が考えられるか検討します。
- ③「T：脅威×S：強み」のクロス分析から、強みを活かして脅威を機会に変える「逆転戦略」として、何が考えられるか検討します。
- ④「T：脅威×W：弱み」のクロス分析から、弱みを解消して脅威の影響を回避する「回避戦略」として、何が考えられるか検討します。

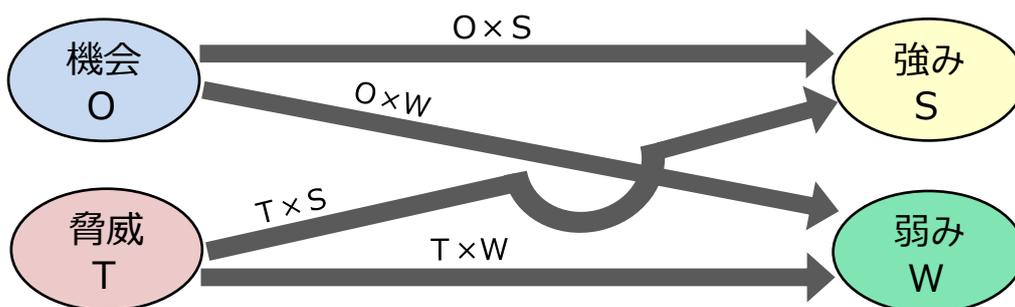
<SWOT 分析の手順>

Step1：現状分析

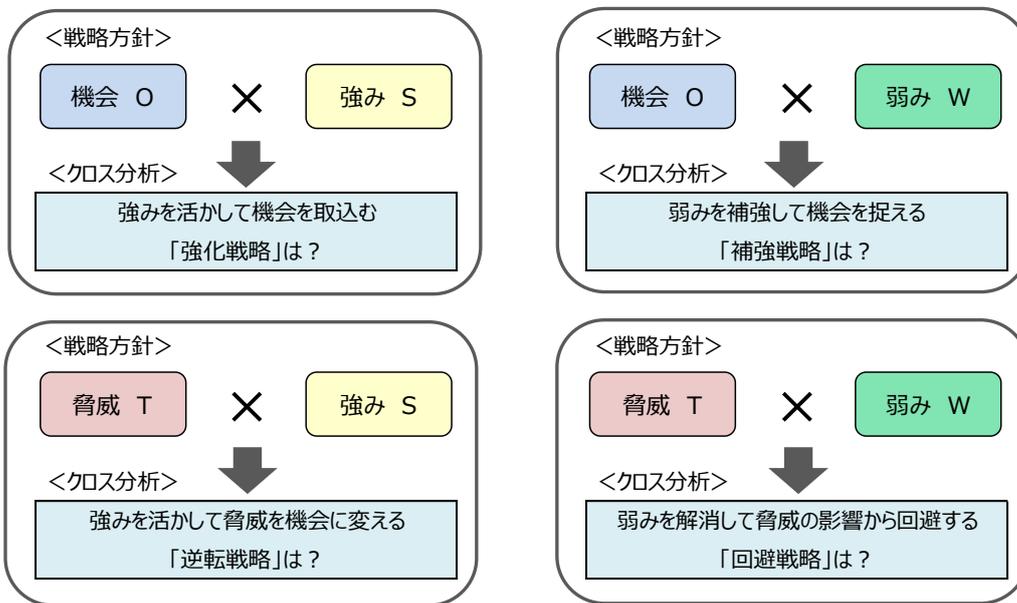
	プラス要素	マイナス要素
内部環境	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
	城陽市が他の地域に比べて優位にあるところ、優れた点	城陽市が他の地域に比べて劣っているところ、苦手なところ
外部環境	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	城陽市に有利に働く変化	城陽市に不利に働く変化



Step2：クロス分析



Step3：戦略立案



(3) SWOT 現状分析

まずはじめに、城陽未来まちづくり会議の各班で出てきた意見の中から、「NEW 城陽」のプラス要素となる本市の強みや、マイナス要素となる弱みなど、本市を取り巻く内部環境要因（市の特性や課題）について整理します。

	プラス要素	マイナス要素
	【強み (S)】	【弱み (W)】
内部環境 (市の特性・課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都や大阪、奈良へのアクセスが良い ・文化パーク城陽はイベントも多く、施設として充実している ・老人福祉センターが多い ・太陽が丘、鴻ノ巣運動公園が近くにある ・鴻ノ巣のジムが安い ・体育館の無料開放の取組みがある ・スーパーが充実している ・自然が豊か ・高いビルも少なく、景色が良い ・水が美味しい ・美味しくて新鮮な野菜が手に入りやすい ・寺田いもやいちじく、梅、カキツバタ、花しょうぶ等の特産物がある ・城陽南部や青谷エリアなどでは農業が充実している ・梅まつりがある ・古墳や遺跡が多い ・京都サングの練習場がある ・自衛隊の演習場がある ・夜は静かで過ごしやすい ・静かな住宅環境がある ・天災が少ない ・他市と比べて事件が少ない ・市役所、商工会議所の整備が行き届いている ・若い世代には城陽愛が深い人も多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路（車道・歩道）、危ない交差点が多い (京都銀行久津川支店前の道路拡幅、交差点に右折レーンを設置する、寺田小学校北側の踏切で歩道がなくなり、車道を通らざるを得ない等) ・通学路の側溝フタ、舗装工事ができていない ・狭い道でもスピードを出す車が多い ・さんさんバスの本数が少ない。西部地域のバス路線が少ない ・近鉄寺田駅に急行が停車しない ・近鉄寺田駅からバスやタクシー乗り場が遠い ・近鉄寺田駅周辺に飲食店等が少なく、活気がない ・城陽市の玄関口がない ・産婦人科がない ・河川や側溝等、大雨が降った場合の防災対策が不十分。人目に付きやすいところにハザードマップがない ・街灯が少なく、夜になると住宅地や文化パーク周辺が暗い ・住宅の宅地開発が少なく、若い世代が転入しづらい ・小学校・中学校のトイレが綺麗ではない ・城陽市と言えばこれと言えないものがない ・城陽市ならではのイベントが少ない ・市民にイベントや特産品等の情報が入ってこない ・城陽市の知名度が低い ・人が集まれる場所づくり ・保育所が足りない ・介護職系の給料が少ない ・コミュニティセンター、テニスコート等の公共施設の運営を柔軟にする (定休日と祝日が重なっても営業する等) ・城陽市立体育館の予約がインターネットで出来ない ・流れ橋のところに自動販売機がない ・深谷・尼塚エリアの公園にごみ箱がない ・北公園（宮ノ谷）のトイレがない

次に、城陽未来まちづくり会議の各班で出てきた意見の中から、「NEW 城陽」のプラス要素となる機会や、マイナス要素となる脅威など、本市を取り巻く外部環境要因（社会情勢の変化）について整理します。

	プラス要素	マイナス要素
	【機会 (O)】	【脅威 (T)】
外部環境 (社会経済情勢の変化)	<ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路の開通 ・南城陽バイパスの整備 ・JR奈良線の複線化 ・近鉄寺田駅前の整備計画 ・サンフォルテ城陽の整備 ・アウトレットの開発 ・企業誘致 ・Facebook、Instagram等のSNSの利用者が多くなっている ・世話好きな方が多く、若い人との交流が活発 ・国際化（外国人労働者の増加、地域住民との交流等） ・外国人観光客の増加 ・京都サंगाが強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進んでいる ・出生数は横ばいで推移 ・転出者に比べ、転入者が少ない（特に若い世代の転出が多い） ・自治会からの脱退者が増えてきている ・幹線道路が渋滞している ・自動車や自転車の交通マナーが良くない ・新名神高速道路が開通しても通過交通の懸念がある ・異常気象やゲリラ豪雨の発生

(4) クロス分析による戦略の立案

SWOT 現状分析で整理した本市の特性や課題、本市を取り巻く社会情勢の変化を基に項目を掛けあわせ、新たな城陽「NEW城陽」の実現につながる戦略を導き出しました。

	【強み (S)】	【弱み (W)】
機会	<p>強みを活かして機会を取り込む 「強化戦略」(O×S)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新名神高速道路の開通により、京都や大阪、奈良に加え、神戸や名古屋、空港などへのアクセスが良くなるので、企業や工場を誘致する。雇用を創出して若い世代の転出を防ぎ、市外からの転入を働きかける。 ・企業や工場誘致を進めるうえで、外国人労働者を受け入れる。地域住民との交流も活発に行い国際化を図る。 ・文化パーク城陽で行われるイベントをSNSなどで情報発信する。 ・近鉄寺田駅前の整備計画を進め、マンションを誘致する。誘致においては、サンフォルテ城陽へのアクセスに加えて、自然豊かで水がおいしい、夜は静かで過ごしやすいことなどをPRする。 ・SNSを活用し、古墳地区や廃寺跡などの情報を国内外の旅行者やマニア向けに発信する。 ・サンフォルテ城陽に農業を体験できる道の駅をつくる。 ・地元農産物が豊富なこと、若い世代には城陽愛が深い人も多いことから、小中学校で地元農産物を使った給食を提供する。 ・サンガタウンとして徹底して盛り上げていく（サッカー教室や競技場での祭り、ファンクラブの活性化）。盛り上げることで、公共交通機関の利用者を増やし、城陽市の魅力発信につなげる。 ・寺田いもいちじくを使い、写真映えるスイーツを開発・新しい食べ方をプロデュースするほか、市内の有名ラーメン店のスタンプラリー、いちじくの大食い大会など、城陽市ならではのイベントを行い、城陽市のブランド化を進める。 ・アウトレットと連携して、地元特産品の販売ブースを設置、知名度向上に向けてPRする。 	<p>弱みを補強して機会を捉える 「補強戦略」(O×W)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR奈良線の複線化、サンフォルテ城陽の整備により、JR城陽駅、近鉄寺田駅が城陽市の玄関口になる可能性を秘めている。利用者数の増加を通じて、近鉄寺田駅への急行停車を実現させる。 ・京都府との連携により、府関係の各種専門学校を設置する。 ・新名神高速道路の開通、JR奈良線の複線化によりアクセスが良くなるので、人が集まる場所づくりとして城陽市ならではのイベント（堤防沿いのミニマラソン、食のイベント、出合いの場など）を開催する。 ・市民にイベントや特産品、補助金などの情報が入ってこないことから、SNSを活用して情報発信する。 ・近鉄寺田駅からバスやタクシー乗り場が遠いほか、飲食店が少なく活気がないので、近鉄寺田駅前の整備計画を進め、事業者を誘致する。 ・河川の氾濫などの防災対策として、スマートフォンなどのカメラ機能を活用して危険な箇所情報を収集し、ハザードマップに反映させる。完成したハザードマップを人目に付くところに設置するほか、SNSを活用して発信する。 ・コミュニティセンターにカフェを併設するなど、世代を問わず地域住民が交流できる場所をつくることで、城陽市に対する地元愛を育てる。
	脅威	<p>強みを活かして脅威を機会に変える 「逆転戦略」(T×S)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスの良さを活かし、京都や大阪、奈良へ就業する人の転入を促す。 ・文化パーク城陽を母子の憩いの場であること、公園や体育館などの施設が充実していることをPRし、子育て世代の転入を促す。 ・静かな住宅環境や他市と比べて事件が少ないことをPRし、子育て世代の転入を促す。 ・美味しく新鮮な野菜が手に入りやすい、寺田いもなどの地元特産品が豊富にあることを子育て世代にPRし、転入を促す。 ・アクセスの良さを活かし、自衛隊の演習場の映画ロケ地への活用、京都サンガ練習場でのイベントを開催し、市外から人を呼び込む。

5-2 意見の分析結果のまとめ

会議の中で出された「NEW 城陽」の実現に向けた提案すべてについて、メインターゲットとキーワードにより分類し、分析を行いました。

①若い世代の転入促進、転出抑制

<SWOT 分析による戦略>

- 新名神高速道路の開通により、京都や大阪、奈良に加え、神戸や名古屋、空港などへのアクセスが良くなるので、企業や工場を誘致する。雇用を創出して若い世代の転出を防ぎ、市外からの転入を働きかける。
- 京都府との連携により、府関係の各種専門学校を設置する。
- 近鉄寺田駅前にお店が少なく活気がないことから、創業・開業支援を充実させる。
- JR 奈良線の複線化、サンフォルテ城陽の整備により、JR 城陽駅、近鉄寺田駅の利用者数を増加させる、また、それを通じて近鉄寺田駅への急行停車を実現させる。
- 市主催で、商店街と連携しながら梅まつりや秋の花火大会で婚活イベントを開催する。

<分析内容>

本市の人口は、転入者に比べて転出者が多い（特に若い世代の転出が多い）ことから減少しています。若い世代の転出については、大学への進学、就職のタイミングで転出する傾向がみられます。

若い世代の転出を抑制するには、新名神高速道路の開通によるアクセス向上を活かした企業誘致などを通じて、市内での雇用を確保することが重要です。また、新たなことに挑戦しやすい環境づくりのため、創業・開業支援の充実も求められます。

また、京都府と連携し、専門技能を習得できる各種専門学校を設置し、若い世代を呼び込むことも重要です。

さらには、JR 奈良線の複線化や近鉄寺田駅への急行停車を実現させ、交通面からまちの魅力を向上させることも求められます。

そのほか、若い世代には地元愛が深い人も多いので、梅まつりなどで婚活イベントを開催するなど、市内での定住促進につながる本市ならではの取り組みを検討していくことが求められます。

②子育て世代の転入促進、転出抑制

<SWOT 分析による戦略>

- 近鉄寺田駅前の整備計画を進め、マンションを誘致する。誘致においては、サンフォルテ城陽へのアクセスに加えて、自然豊かで水が美味しい、夜は静かで過ごしやすいことなどをPRする。
- コミュニティセンターにカフェを併設するなど、世代を問わず地域住民が交流できる場所をつくることで、本市に対する地元愛を育てる。
- SNS を活用して子育てについて利用できる市の補助金を周知する。
- 文化パーク城陽を母子の憩いの場であること、公園や体育館などの施設が充実していることをPRし、子育て世代の転入を促す。
- 静かな住宅環境や他市と比べて事件が少ないことをPRし、子育て世代の転入を促す。
- 美味しくて新鮮な野菜が手に入りやすい、寺田いもなどの地元特産品が豊富にあることを子育て世代にPRし転入を促す。
- 待機児童を少なくするため、小学校区ごとに保育園を設置する。保育士の雇用を確保するため給料をアップする。

<分析内容>

本市の課題である、若い世代や子育て世代の転入を促進し、転出を抑制するには、子育て支援の充実・PRを行っていくことが必要です。

城陽未来まちづくり会議で出てきた意見を踏まえ、転入促進と転出抑制の視点でみると、転入促進においては、SNS を活用し、子育てに関する補助金、文化パーク城陽などの施設が充実していること、自然豊か・静かな住宅環境・地元特産品が豊富であることなど、本市の魅力を効果的にPRすることが必要です。

一方、転出抑制においては、保護者の育児についての不安を緩和する施策が求められます。例えば、富山県砺波市では、3世帯同居の子育て世帯に子ども1人につき最大10万円を支給するほか、保護者が育児について相談できる交流会を保育所や幼稚園、小学校で開催するなど、金銭面以外でも育児の不安を緩和する施策を行っています。

本市ではコミュニティセンターにカフェを併設するなど、世代を問わず住民が交流できる場所づくりに取り組むことで、若い世代の地元愛を育み、転出抑制につながることを期待されます。

そのほか、産婦人科の誘致、待機児童を減らすため小学校区ごとに保育園を設置するなどの意見もみられました。また、安定した保育の質の確保という観点から、保育園を設置した後も保育士が安心して就労できるよう、給料を引き上げるなど、他の自治体との差別化を検討することも求められます。

③安全・安心・快適に暮らせるための生活環境の整備

<SWOT 分析による戦略>

- 車道や歩道を拡幅するほか、自動車や自転車の交通マナー講習を行い、市民が安全に暮らせる環境を整備する。
- 夜暗くなる場所に、街灯を設置し住民が安心して暮らせる環境を整備する。
- 河川の氾濫などの防災対策として、スマートフォンなどのカメラ機能を活用して危険な箇所の情報を収集し、ハザードマップに反映させる。完成したハザードマップを人目に付くところに設置するほか、SNS を活用して発信する。
- 治水事業の推進。
- 市民の声を聞き、情報共有するため、SNS の活用やスーパーなどに投票箱を設置する。
- 空き家整備、カラス対策やごみ捨て場の見直し。
- 市役所の土日営業。

<分析内容>

防災に関しては、効果的な対策として、スマートフォンなどのカメラ機能を活用し、対策が必要な箇所をピンポイントで把握し、優先度を付けていくことが求められます。また、収集した情報をハザードマップに反映し、大手スーパーなど人目に付きやすいところに設置するほか、FacebookやTwitter、InstagramなどといったSNSを活用して発信していくことが必要です。

生活道路については、車道や歩道の拡幅に加えて、各地域で危険箇所をピックアップした「ヒヤリハット地図」の作成、危険箇所へ向けた路面標示シートの設置、自動車・自転車運転者を対象とした交通安全教室の開催などにより、地域住民全体で危険箇所への認識を深め、交通安全意識の高揚を図ることも重要です。

そのほか、街灯の設置やカラス対策、ごみ捨て場の見直しなど、地域ごとに課題が異なるので、SNS の活用やスーパーなどに投票箱を設置し、市民の身近な声を吸い上げていくことが必要です。

④高齢者が長く元気に暮らせる生活環境の検討

<SWOT 分析による戦略>

- 高齢者が増加するなか、介護職系の給料をアップすることで、高齢者向け施設で働く人の離職を防ぐ。
- コミュニティセンターにカフェを併設するなど、世代を問わず地域住民が交流できる場所をつくることで、本市に対する地元愛を育てる。
- さんさんバスの増便、ライドシェアリングなど、高齢者が免許返納後に利用できる交通機関を充実させる。
- 近鉄寺田駅からバスやタクシー乗り場が遠いほか、飲食店が少なく活気がないので、近鉄寺田駅前の整備計画を進め、事業者を誘致する。
- 企業や工場誘致を進めるうえで、外国人労働者を受け入れる。地域住民との交流も活発に行い国際化を図る。

<分析内容>

本市では少子高齢化が進んでいますが、城陽未来まちづくり会議では公共交通に関する意見が多くみられました。

まず、近鉄寺田駅の近くにバスやタクシーの乗り場を整備することで、利用者の増加につながることを期待されます。また、さんさんバスの増便の早期実現が難しい場合は、乗合タクシーなどのライドシェアリングの推進を検討することも求められます。

さらに、高齢者が安心・生き生きとした暮らしができるよう、高齢者向け施設の充実、世代を問わず住民が交流できる場所づくりなども求められています。

高齢者向け施設の充実においては、施設で働く人の離職を防ぐため、給料を引き上げることを検討する必要があります。

他にも、コミュニティセンターを活用して、世代を問わず住民が交流できる場所を整備することで、高齢者の生き生きとした生活を支援でき、介護予防にもつながると考えられます。また、外国人労働者を活用し、高齢化社会における労働力を確保するとともに、地域住民との交流を活発に行う施策を整えることで、地域の中で同様の効果が期待できます。

⑤地域ブランディングや観光についての情報発信を強化

<SWOT 分析による戦略>

- 市民向けにイベントや特産品などの情報が入ってこないことから、SNS を活用して情報発信する。
- 古墳の多い地域や廃寺跡などの情報を国内外の旅行客やマニア向けに発信する。
- サンフォルテ城陽に農業を体験できる道の駅をつくる。
- サンガタウンとして徹底して盛り上げていく（サッカー教室や競技場での祭り、ファンクラブの活発化）。盛り上がるにつれて公共交通機関の利用者も増えるので、本市の魅力発信につなげる。
- 寺田いもやいちじくを使い、写真映えるスイーツを開発・新しい食べ方をプロデュースするほか、市内の有名ラーメン店のスタンプラリー、いちじくの大食い大会など、本市ならではのイベントを行う。
- アウトレットと連携して地元特産品の販売ブースを設置する。
- アクセスの良さを活かし、東部丘陵地など市特有の場所を映画ロケ地に活用する。
- 地元特産品が豊富なこと、若い世代には城陽愛が深い人も多いことから、小中学校での地元特産品を使った給食を提供する。

<分析内容>

観光情報の発信は、観光協会のホームページにて観光全般にわたる情報、ブログを使った情報を発信しています。城陽市総合観光案内所「五里五里の里」では、ガイドマップやパンフレットなど、紙媒体による情報提供や窓口での観光案内を行っています。

一方、城陽未来まちづくり会議では、市民向けにイベントや特産品などの情報が入ってこないとの意見がみられました。

近年はインターネットによる情報発信のスタイルが大きく変化しており、スマートフォンの普及やソーシャルメディアの利用者増加に伴い、観光やイベント、飲食店などの感想や写真・動画がリアルタイムで発信され、拡散されています。

このような状況を踏まえ、本市の魅力や観光情報を効果的に発信するために、既存のホームページに加えて、Facebook や Twitter、Instagram などといった SNS を積極的に活用し、歴史遺産、特産品やラーメン店などの飲食店を活かしたイベント、サンガタウンでのイベント情報を PR していくことが求められます。

また、新名神高速道路の開通、アウトレット開発は、本市に有利に働く外部環境の変化ですので、アウトレットと連携した特産品の販売、自衛隊の演習場を映画ロケ地に活用して観光客を呼び込むといった効果も期待されます。

そして、小中学校での地元特産品を使った給食を提供するなど、地元の豊富な特産品を市民に知っていただくことも重要です。

<総括>

本市では、人口が減少し、特に若い世代の転出が多い状況にあります。人口構成比をみると、近隣市より14歳以下の年少人口比率は低く、65歳以上の老年人口比率は高くなっています。

この状況を打開するため、本市では令和5年度の新名神高速道路の全線開通を契機に、新たな城陽「NEW 城陽」へと大きな変化を遂げようとしており、城陽ジャンクション・インターチェンジに隣接する新市街地（サンフォルテ城陽）の整備のほか、東部丘陵地の開発、JR 奈良線の高速化・複線化事業などが進められています。さらに、東部丘陵地ではプレミアムアウトレットの進出も具体化し、さらなる交流人口の増加が期待されるなど、さまざまな地域課題の一方で、本市の強みとなる要素も充実しています。

今回の城陽未来まちづくり会議では、車道や歩道の拡張整備、公共交通の充実、河川の氾濫などの防災対策、近鉄寺田駅周辺の整備、子育て世帯や介護が必要な世帯への支援、雇用創出など、さまざまな地域課題に関する意見がみられました。

これらの地域課題や強みを分析すると、インフラ整備や交通の充実などにより安全・安心・快適に暮らせる生活環境を整備すること、情報発信の強化や地域ブランディングにより市のイメージ向上を図ること、それらを通じて学生や子育て世代など若い世代を呼び込むことが求められます。生活環境整備や若い世代を呼び込むことは、今住んでいる高齢者が快適に暮らせる環境づくりにもつながります。これらの取り組みによって、地域住民が住み続けたい、また、本市を訪れた人が住んでみたくなるまちづくりにつながり、本市の更なる発展・活性化が期待されます。



第6章 城陽未来まちづくり会議の資料編

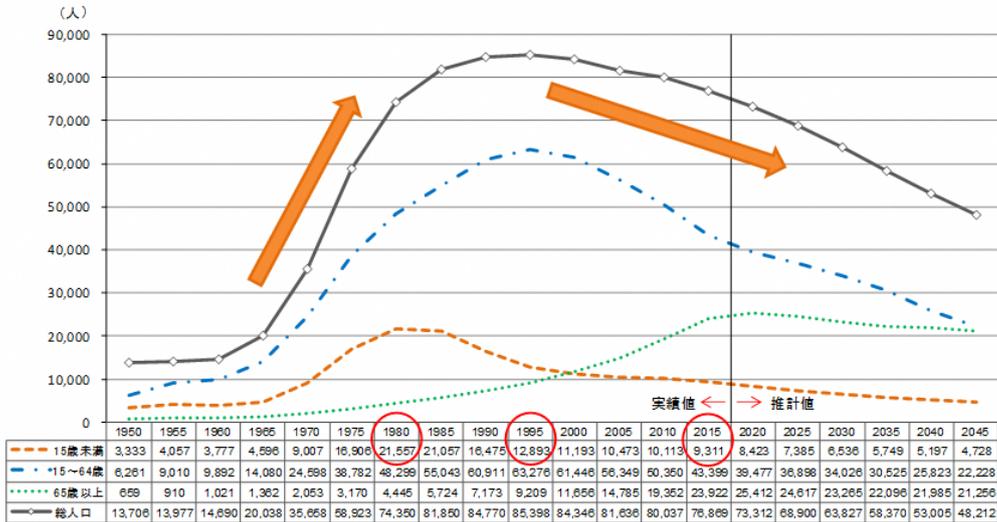
6-1 当日配布資料「NEW 城陽」について

城陽未来まちづくり会議（55人委員会）資料

■ 城陽市の課題

- ・人口減少、少子高齢化
- ・通過交通の懸念
- ・知名度が低い

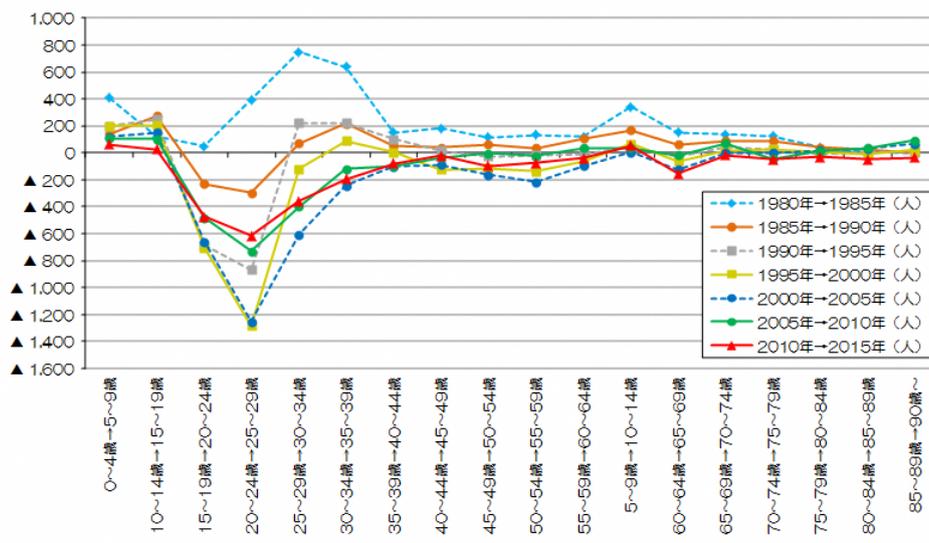
城陽市の人口動態（人口推移）



出所：総務省統計局「国勢調査」（2015年）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」を基に作成。

3

城陽市の人口動態（5歳階級別の社会増減）



出所：RESAS（地域経済分析システム）を基に作成。

4

人口が減少している

- ・出生数は横ばい
- ・転出者に比べ、転入者が少ない
(特に若い世代の転出が多い)

5

たくさんの人に城陽市に住み続けてもらいたい



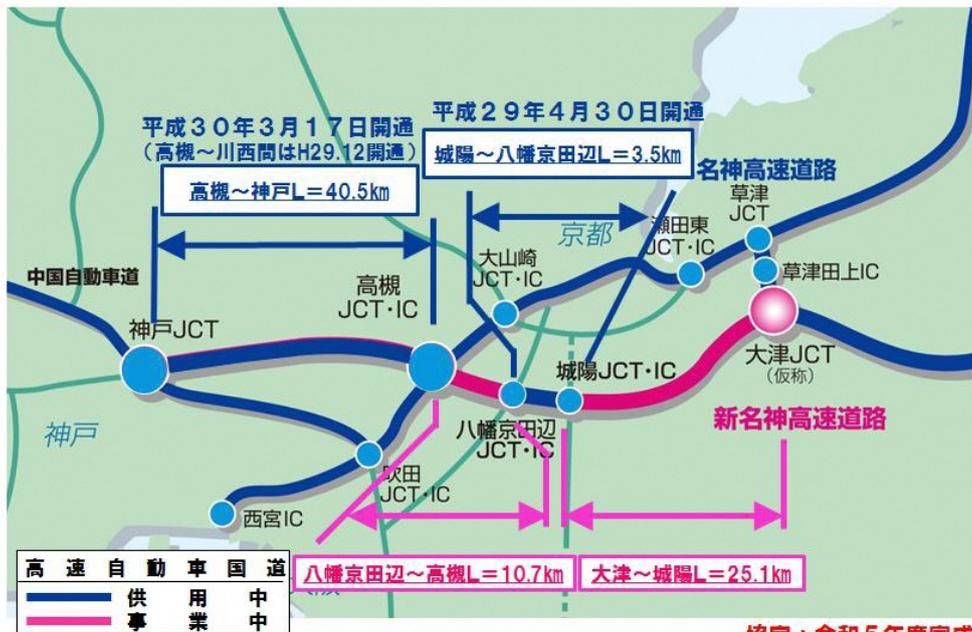
そのために何が必要か？

6

NEW城陽

新名神高速道路を活かした
訪れたい、働きたい、住みたいまちづくり

新名神を活かしたまちづくり



「NEW城陽」に向けた重点プロジェクト

城陽市域主要事業箇所図



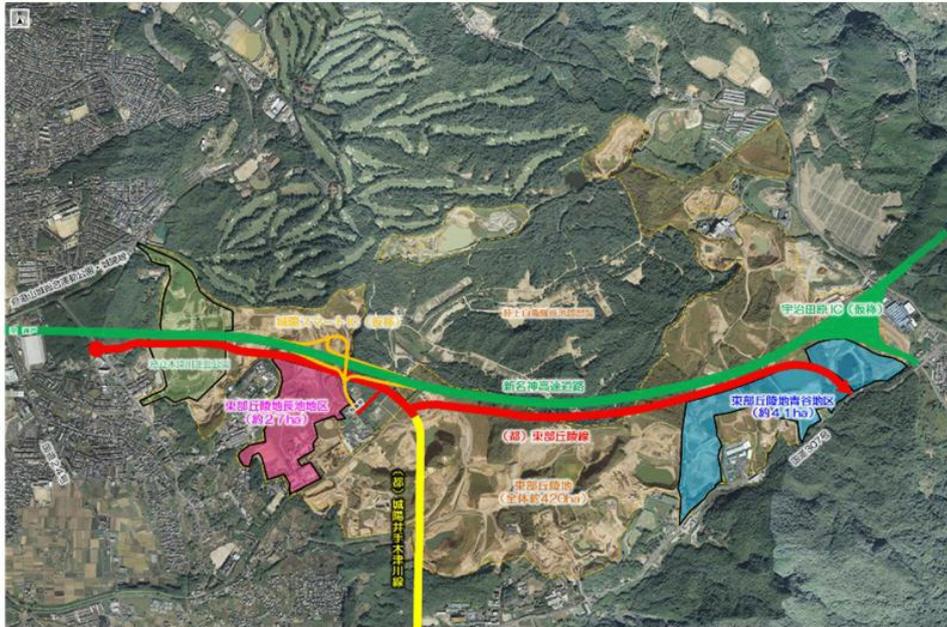
9

サンフォルテ城陽 (久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業)



10

東部丘陵地整備事業



資料提供：城陽市

11

東部丘陵地整備事業（長池地区商業ゾーン）



アウトレット開発イメージ図
(三菱地所・報道発表資料より)

12

JR奈良線高速化・複線化の推進



資料提供：城陽市



13

市街地の再構築（近鉄寺田駅周辺整備の推進）



資料提供：城陽市



14

市街地の再構築（JR山城青谷駅周辺整備の推進）



資料提供：城陽市

15

地域の資源（特産品等）



資料提供：城陽市

16

地域の資源（産業資源・施設資源）

ロゴスランド

イメージ図



イメージ図であり、今後の協議等により変更となる場合があります。

梅まつり



城陽秋花火大会



客室



レストラン

資料提供：城陽市

Joyo Super Jump Extreme



17

新たな城陽「NEW城陽」の実現に向けて

新名神高速道路のインパクトを活用したまちづくり (ハード面&ソフト面)

- ◆大規模プロジェクト：サンフォルテ城陽、アウトレットモール
JR奈良線高速化・複線化
- ◆既存市街地の整備：駅周辺、生活道路、河川の整備
- ◆産業の振興：京都・城陽カンパニーネットワーク事業（ジョーカンネットワーク）
農業の6次産業化（1×2×3推進プラン）
- ◆福祉・教育施策の推進：高齢者が暮らしやすく、子育てしやすいまち
- ◆転出と抑制・転入促進：地域資源の活用等による市の魅力創造 等

18

「NEW城陽」にさらに必要なもの

市全体の大規模なプロジェクトに加えて
みなさんの地域が必要としている何かがあるのでは



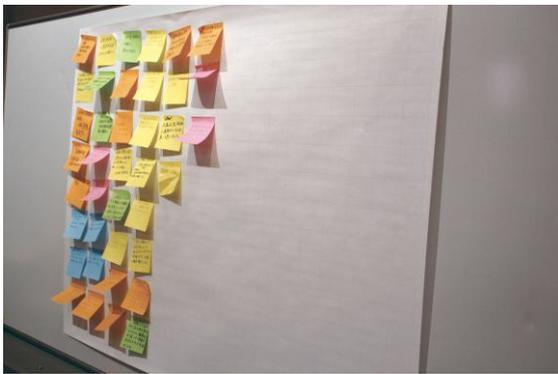
あなたの地域をさらに住みよくするために
「NEW城陽」にさらに必要なものとは

6-2 グループワークの様子

1班



2班



3班



4 班



5班



6班



7班



第7章 事前アンケート結果

7-1 調査の目的

「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」は、1つのテーマについて交流と対話を行い、その意見を市民の声として行政への提案につなげ、また交流の場を通じて地域社会のつながり（コミュニティ）を高めることを目的に開催しました。

このアンケート調査は、城陽未来まちづくり会議を実りあるものとしていくため、無作為に抽出した市民1,800人を対象に、会議への参加依頼書とともにアンケート用紙（下）を郵送し、調査を実施しました。

7-2 調査の概要

- (1) 調査地域：城陽市全域
- (2) 調査対象：城陽市在住の18歳以上の男女個人から無作為で1,800人を抽出
(令和元年7月1日現在)
- (3) 調査方法：郵送法（郵送配布—郵送回収）
- (4) 調査時期：令和元年7月
- (5) 回収数：344件（回収率19.1%）

※集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。

令和元年度 城陽未来まちづくり会議 対象者アンケート

このアンケートは、城陽未来まちづくり会議の開催にあたり、無作為に抽出いたしました1,800人の市民の皆さまを対象として、参加のご依頼とともにお送りしているものです。「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」を、市民の皆さまとともにより実りあるものとしていくため、趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和元年（2019年）7月
城陽市

ご記入にあたってのお願い

1. ご回答は、原則として封筒の宛名ご本人をお願いします。
2. ご記入は、黒のボールペンでお願いします。
3. ご回答は、股間ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。
なお、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入してください。
4. ご記入が終わりましたら、返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、郵送にて7月31日（水）までにご返送ください。（切手は不要です）
5. ご記入にあたり、質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
城陽市 企画管理部 秘書広報課 担当：原、今里
電話（0774）56-4051 FAX（0774）55-7774

質問1 全員にお伺いします。あなた自身のことについてお答えください。

- (1) お住いの小学校区を選んでください。
①久津川 ②古川 ③久世 ④深谷 ⑤寺田
⑥寺田南 ⑦寺田西 ⑧今池 ⑨高野 ⑩青谷
- (2) 年齢層を選んでください。
①10～20歳代 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代
⑤60歳代 ⑥70歳代 ⑦80歳代以上

質問2 全員にお伺いします。城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初にご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。最も当てはまるもの1つを選んでください。

- ①面白そうだった ②興味がなかった ③内容が分かりづかった
④その他（ ）

質問3 全員にお伺いします。今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。最も当てはまるもの1つを選んでください。

- ①多くの市民が参加の機会を得られて、よいことだと思う
②関心のない市民にも案内が届くので効率的でないと思う
③その他（ ）

【裏面へ】

質問4 全員にお伺いします。あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾されましたか。
①承諾した ②承諾しなかった

質問5 質問4で「②承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。参加を承諾されなかった理由は何ですか。（複数回答可）

- ①参加しなかったが今回は都合が合わない ②拘束時間が長すぎる
③テーマがわかりづかった ④会議そのものに関心なかった
⑤土曜日は参加できない ⑥謝礼が少ない ⑦心身の不調のため
⑧その他（ ）

質問6 全員にお伺いします。今後、城陽未来まちづくり会議で扱って欲しいテーマはありますか。（複数回答可）

- ①教育 ②子育て ③環境 ④農業 ⑤商工 ⑥観光 ⑦道路・交通 ⑧都市計画
⑨市民活動 ⑩高齢者・障がい者福祉 ⑪防犯・防災 ⑫医療
⑬自然・歴史・文化財 ⑭その他（ ）

質問7 全員にお伺いします。あなたが思い描く理想の「NEW 城陽」の実現のために必要と思われることは何ですか。（複数回答可）

- ①宅地開発 ②道路などの整備 ③公共交通機関等交通網の充実
④企業誘致 ⑤地場産業の継承・育成（農業） ⑥地場産業の継承・育成（商工業）
⑦起業支援の充実 ⑧子育て環境の充実 ⑨教育環境の充実
⑩ワークライフバランスの推進 ⑪高齢者・障がい者福祉施策の充実
⑫防犯・防災対策の充実 ⑬観光資源の情報発信・積極的活用
⑭地域資源を活用したイベント開催 ⑮まちの魅力発信・知名度向上
⑯その他（ ）

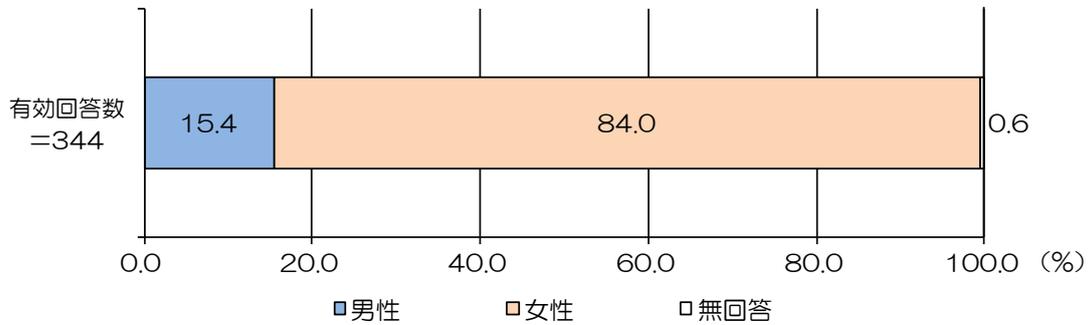
質問8 質問7で選択した項目について、具体的に何を行っていくべきだとお考えですか。ご自由にご記入ください。

質問9 その他意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

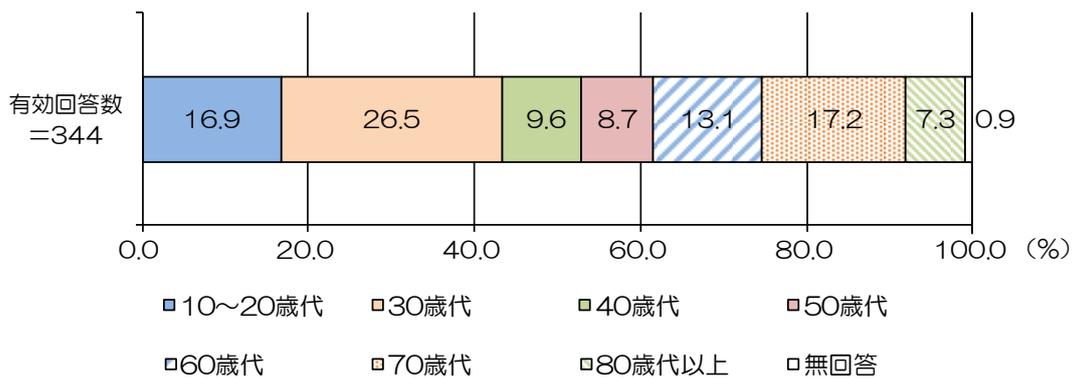
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、7月31日（水）までにご返送ください。

質問 1 全員にお伺いします。あなた自身のことについてお答えください。

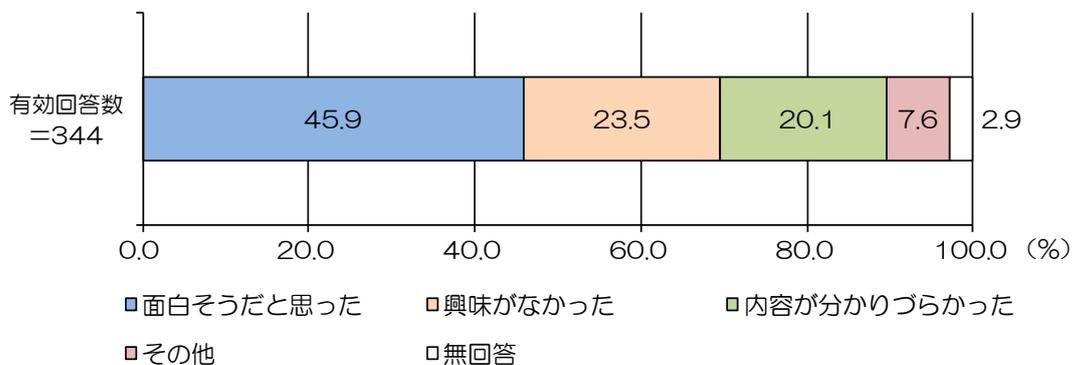
(1) 性別を選んでください。



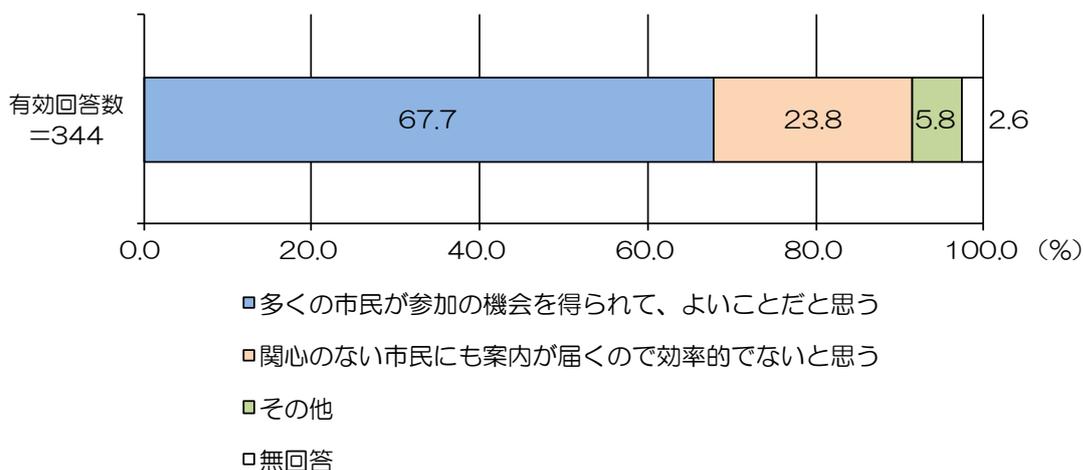
(2) 年齢層を選んでください。



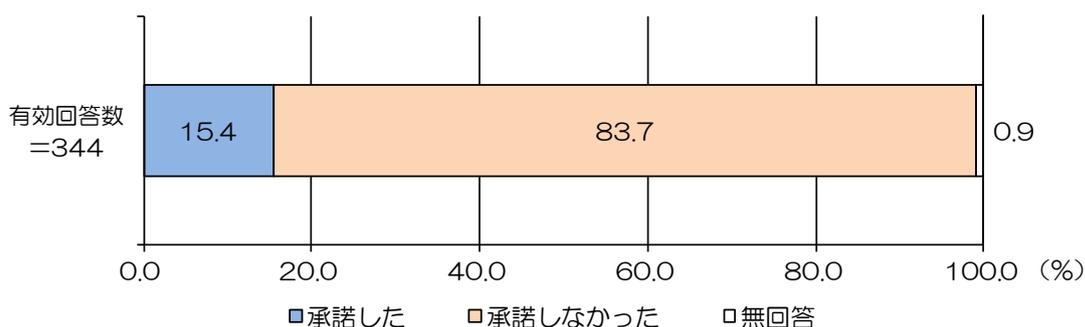
質問 2 全員にお伺いします。城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初にご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。最も当てはまるもの1つを選んでください。



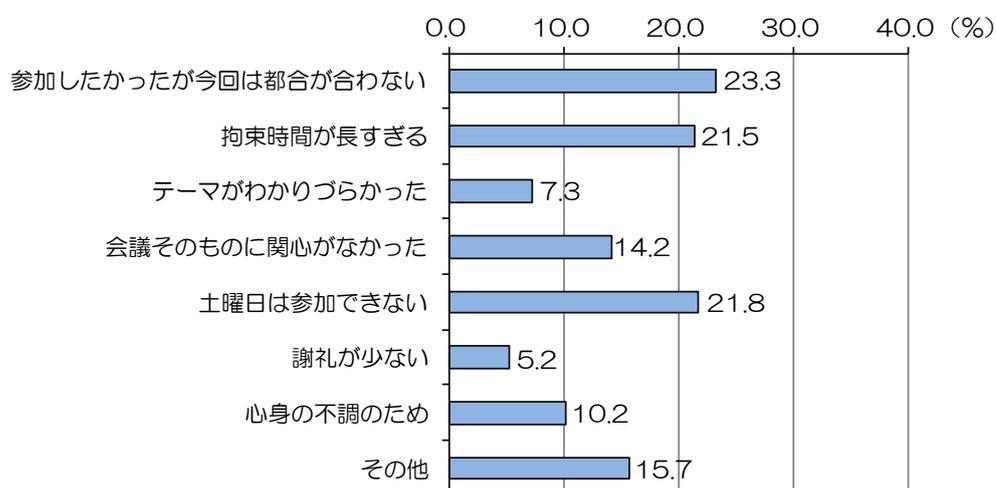
質問3 全員にお伺いします。今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。最も当てはまるもの1つを選んでください。



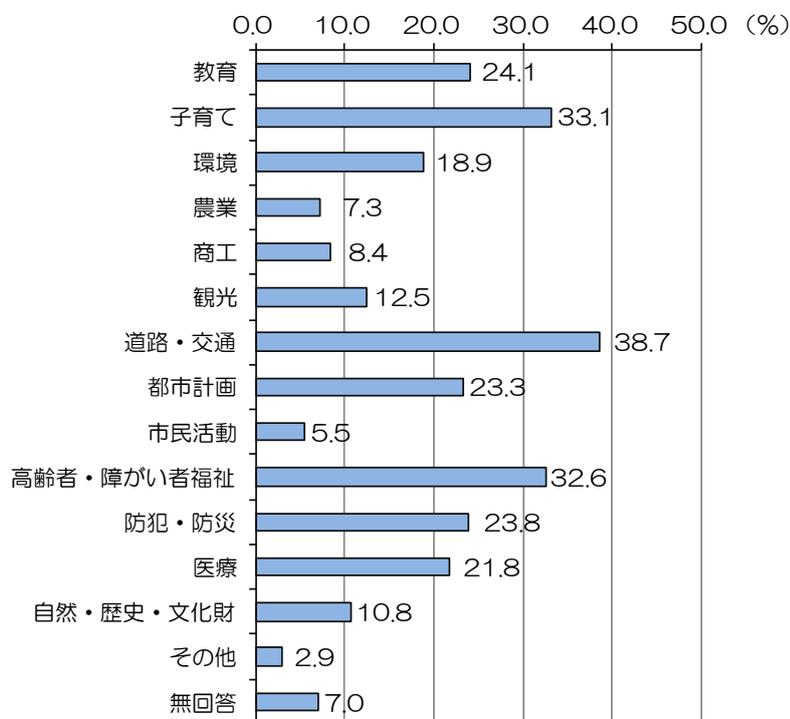
質問4 全員にお伺いします。あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾されましたか。



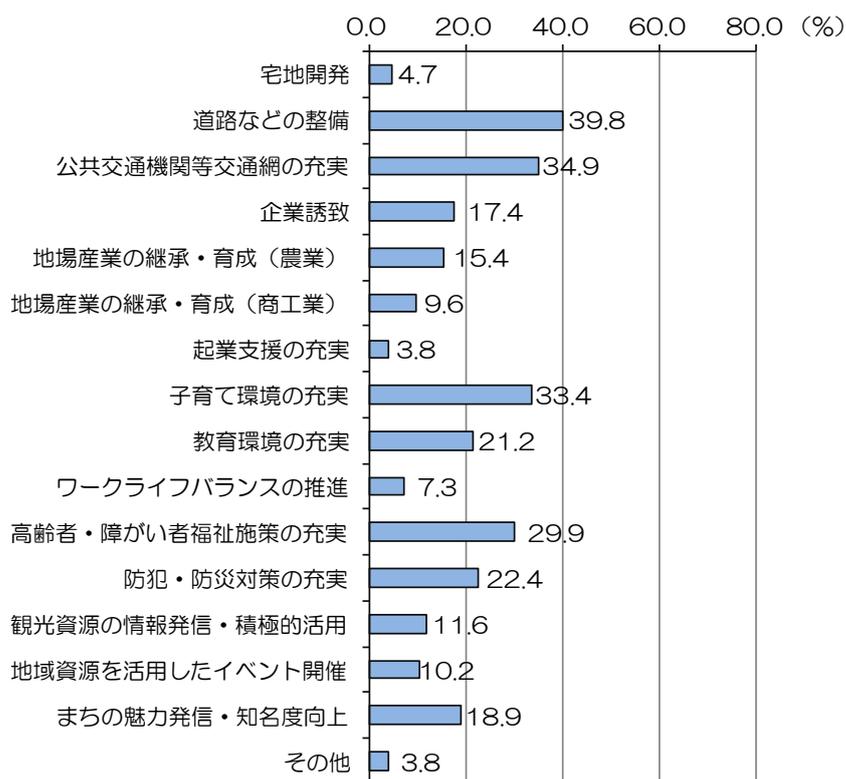
質問5 質問4で「承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。参加を承諾されなかった理由は何ですか。(複数回答可)



質問 6 全員にお伺いします。今後、城陽未来まちづくり会議で扱って欲しいテーマはありますか。(複数回答可)



質問 7 全員にお伺いします。あなたが思い描く理想の「NEW 城陽」の実現のために必要と思われることは何ですか。(複数回答可)



質問 8 質問 7 で選択した項目について、具体的に何を行っていくべきだとお考えですか。ご自由にご記入ください。

道路	道路などの整備については、私道や市道を舗装していただき、公共交通機関の充実に関しては、JR奈良線山城青谷、山城多賀の駅舎の地震対策をしていただきたいです。子育て環境と教育環境については私立・公立関係なく支援していくことで少子化対策になるかと思いません。城陽市の情報発信等に関しては、流行に乗って若年層への認知度を高めていくべきだと思います。
	歩道のない道路に整備をして、歩道を作してほしい。府道が多いので検討してほしい。
	小・中学校の空き教室の活用。狭い道路が多いので、思い切った道路整備（立ち退きを含む）。子どもが球技できる公園の整備（防球ネットの新設）。
	少しずつ整備はされていると思いますが、まだまだ道幅が狭かったり、整備すべき所はあると思います。
	車で移動していると見通しの悪いところがあったり、道が凸凹している所があります。小さい子どもがいるので、どのタイミングで避難をしたら良いかが分かりにくい時があり、早めに情報が出てくれたらと思う時がありました。
	道路整備や信号機やミラーの設置。
	道が細く、危険だと感じる所が多いので改善してほしい。子育て環境が整っていない。幼児が遊べる所が少ない。日向ぼっこくらいしか遊べる所がないが、駐車場が少なくバス停からも遠く不便。
	69号線や沿線、69号線以西の道路整備。
	通学路の拡張と車から子どもを守る柵や防護のための施策。体育館の空調施設を導入。金管バンドクラブの資金不足、楽器が壊れても修理すら出来ず、購入資金もない。
	歩道が狭い、道路に穴が開いている。公園の遊具がどこも同じで魅力がない。バスの時間が活用しにくい時間である。側溝に蓋がない所が多い。
	大きな広いメイン道路（国道、高速）は完成に向けて整備が進んでいますが、一歩市内の生活道路に入ると狭く、凸凹で自転車での事故、負傷をよく聞きます。生活道路の整備（特に歩道）。高速インター付近等、田畑が買収され失われていっています。地産地消を維持し、守ってほしいと思います。
	通学路なのに危険な箇所が数多くあります。警察の協力のもと、定期的に取り締りや危険運転やマナー違反の運転手を監視することが必要だと思います。35人学級の実施。公園の整備や遊具の充実。
	塚本深谷線が完成しました。車が通れる、走れる位の歩道であの幅は必要なんですか。市内には離合の出来ない旧道が数多くあります。JR城陽駅北側の踏切は離合が出来ず、渋滞が度々起こっています。歩道はつくられるようですが、車の離合が出来る幅は不可欠です。
	宅地開発がほとんど行われていないので、城陽市で家を買いたい魅力的な物件がない。また、駅周辺の道路状況が悪いため、発展しにくいと想像がつかます。高齢化が進むなか、もっと若い人に来てもらえるよう工夫が必要だと思います。せっかく、駅があるのに周りが田舎っぽすぎてもったいないと思います。
	道路の舗装が傷んでいて、走るのに困る。路線バスやさんさんバスの本数が少ない。始発の発車時間で5時～6時台のものを作ってほしい。防犯カメラの設置をしてほしい。交番も作ってほしい。
	高速道路の充実に対して、市内の道路を整備する必要がある。狭い道路が多すぎる。災害のないまちづくり。
ペーパークーも通れないような歩道が多すぎて、危険が多いことが気になっています。	
国道24号線混雑時の地域内の朝・夕の車両対策（特に子ども達の通学時）。日常の交通対策。高齢化による足の確保対策。地産産業のPRが少ないので、各種報道の活用。	
新名神高速道路の工事が進行していますが、南北の交通網が未整備であるため、交通渋滞が発生しています（国道24号線）。新名神高速道路と南北交通網が整備され、工場等の開発許可の見通しが良くなれば、工場の進出が見込まれます。工場が進出すれば、城陽市の財政、また人口の増加が明るくなると思います。	
細い道路の拡張及び近鉄寺田駅前の整備。	
これから人口が増えていくと思うので、昔からある古くて狭い道路の整備をしていくべきだと思う。渋滞や車が多くなると起きなくてよい防げる事故が起こってしまう可能性が出てくるため。待機児童の解消。保育士の給与を上げることで、潜在保育士などの人材確保に努めていくべき。	

道 路	広い歩道、車道の整備、自転車が多く余裕で走れる道路の整備、大学授業料の無償化。
	古い道路の拡張やバスなどによる駅などへのアクセスの改善。
	交通量の多い割に道が狭かったり、乱暴な運転をする車を見かけるので、もう少し道幅を広げる、速度など制限を見直していただきたいです。これから城陽市でおそらく出産することになるので、子育てや出産への助成金が充実すると嬉しいです。
	通学時間中の通学道路における車の通行規制。
	寺田、富野など昔ながらの道路は難合も困難であるのに、国道からバイパスへの通り抜けは生活道路なのにされている。大きな道路を使用してくれるよう、立て看板などで案内出来ないものでしょうか。小さな子どもや通学途中の子どもにとって、とても危険であると感じています。
	確実に渋滞すると分かっているところの緩和方法を考える。地場産業の発信をもっと分かりやすくする。
	歩行者（障害者）の安全、自転車・バイク・車のマナー、狭路の一方通行化。
	東西方向の道路整備（特に近鉄久津川駅周辺）、高齢者介護施設の増床。
	自転車道の拡張、自分みたいな社会不適合者でも一人暮らしが難しくなくなるまちづくり、オランダに負けない位安楽死を自由化する条例の制定。
	片側にしか歩道がない道や歩道のない踏切が多い。交通量も多く、マナーもあまり良くないと感じるので、歩道の整備をしてほしい（小学生の子どもがいるので）。
	寺田深谷86付近で路上駐車がが多いので、取り締まりしてほしい。東城陽中学校に面するバス通りに植木が道路まで出ている家があり、非常に通りづらい。
	道路がガタガタでベビーカーが押しにくい。よく混む道などももう少しスムーズに進むように整備してほしい。
	宮ノ谷線のバス道路が狭く歩行者が危険なので拡張が必要。南部の中核都市として、物流の中継基地としての役割を果たす都市として発展してほしい。
	道路の拡張、まだまだ狭い道幅（旧街道）、富野から近鉄寺田駅間、高齢者が多いので、乗合タクシー等の運行（深谷は150円バスで大変助かっています）。
	近鉄久津川駅周辺の道路が狭く、車道と密接しており歩行困難、危険である。校区的に店舗がなくなり、住民の高齢化が進んでいると思うなか、不便さを実感する。
	道路の溝を整備、道路の拡張、JRの複線化。
	東部丘陵地および周辺地域の一体的な計画と既存の計画の見直し（将来に向けてこれまでの計画を見直す必要がある）。高速道路や国道バイパスの新設に伴う交通量増加に対応する市道の新設や改良。企業誘致制度の充実、積極的な法人へのアピール営業。民間団体への支援、補助施策の考案、発信。
	近鉄久津川駅から国道24号線に出る道路に右折レーンを設置する。右折車の後ろにいと直進できないため道が混む。
	高速道路の開通やアウトレット、コストコなど便利にはなっていますが、市民の一番の望みは、安心して安全に暮らしていける環境作りだと思います。塚本深谷線は便利ですが、ガードレールがなく車の通りも多いので、子どもと一緒に通りたいです。道路計画の際に、ガードレール、安全対策をセットで計画していただきたいです。国道24号線も歩道が狭く、ガードレールも少ないので、ベビーカーやママチャリは通れません。夜は真っ暗な道が多く、街灯や防犯カメラなどが少なく感じます。安心して暮らせるとさらに良くなると思います。公園の草が生い茂っている場所が多いので、手入れしていただきたいです。
	市街地の道路整備が必要。
私自身も高齢者になりました。城陽市の家事支援に参加していましたが、利用する人もいないのでという返事をいただき、そのままになっております。道路工事を見受けますが、高速道路はいつ完成するのか。防犯防災のことについて、災害の多い今日、どんなことに気をつけるのか知りたいです。	
私は城陽市に住んで53年になりますが、その頃と比べると相当発展したと思いますが、道幅が狭いように思います。近鉄の3駅前には混雑しているように思います。近鉄寺田駅前は北に新しい道路ができたので少しましなような気がしますが、私の住んでいる近鉄富野駅前には危ないです。近鉄線の東側北行は一方通行ですが、車がひっきりなしに入ってきて立ち止まる回数が多いです。特に車椅子の方の移動が大変ですので、歩行者専用道路になればと思います。	
JR奈良線の踏切の歩行者用スペースの確保。	
朝と夕方の国道24号線等の交通渋滞の緩和。	

道 路	近鉄久津川駅のホームへの移動が楽になれば良い。駐輪場から奈良方面のホームへ行くには踏切を渡らなければならない。スーパー山田屋から京都方面のホームへ行くときに、電車が停車してから走っていく人を良く見かける。乗る人も近鉄側も嫌な思いになるからこそ、地下通路的なものがあれば今後にもつながると思います。
	歩行者や自転車の専用道路をもっと増やすべきだと思う。
	アウトレット完成に伴い、周辺道路の混雑の不安・不便さが大きくなるため、回避できる道路の整備・確保が大事。高齢化問題については、施設不足、高額・入所待ち等、これから増加する高齢化社会に向けて増やしていくべき問題である。
	近鉄久津川周辺の道路整備（渋滞解消、歩道整備）、バス路線。 道路整備が悪い。城陽市は旧村を守りすぎ。京田辺市、八幡市は道路整備が良い。
交 通 機 関	京都から奈良と同じような路線とはいえ、寺田駅と城陽駅が離れているのは不便です。近鉄寺田駅から文化パーク城陽、市役所を経由して、城陽駅に行くルートを巡回する公共交通機関があると便利になるのではないのでしょうか。これからの高齢化社会に向けて、公共交通機関の整備が必要です。
	高齢者の免許返納等による公共交通の充実および支援。
	高齢者が自動車免許証の返納後に、代替となる公共交通機関が少ない。
	城陽市の東部（友ヶ丘付近）、西部（久津川以西付近）に買物、病院、通勤の足となるバス路線がなく、極めて不便である。現在、木津川病院の送迎車の使用を勧めているが、こんな他人事みたいなやり方ではなく、もっと真剣に考えてほしい。高齢者に対して、道路（特に歩道）の整備が全く進んでいない。まちに出掛けても公衆トイレ（身障者用）がなく、全く不便極まりない。小・中学校にも身障者用トイレを設置すべきと思う。教育問題では、少子高齢化で子どもの数が減って、教育に時間を割ける環境にあると思うので、塾頼みではなく、詰め込みだけでなく人間性の確立を目指して頑張してほしい。
	交通機関等、交通網の充実（道路・交通）、近鉄寺田駅の踏切を何とかすることが必要だと思います。
	JR奈良線の複線化等。
	公共交通機関等交通網の充実。
	JRや近鉄電車の高架及び近鉄寺田駅の移動（現在の南側へ）。
	バスの本数が減ったので、不便になった（特に夜間）。病院の送迎もなくなった。すぐ近くに食料品等を買える店があるとありがたい。老人ホーム等を増やしてほしい。
	近鉄寺田駅を急行列車の停車駅にする。
	サンフォルテ城陽方面にさんさんバスのようなバスがあれば良いなと思います。大きな道路は綺麗になっているけど、細い道などはガタガタで危ないところがあるので、直してほしい。
	高齢者の免許返納等による公共交通網の充実。子育てがしやすいようにする。
	北部方面で乗合バスが運行されていません。車の運転ができなくなった時の外出が不便です。
	免許証を返納した後の交通手段などを考えてほしい。
	病院やスーパーの前にバスを停めてほしい。
	年金とともに自動車免許の返納を考える年齢なので、タクシーをもっと気軽に利用できるよう、台数を増やしたり、運転者の態度等で気配りをしてほしい。子どもたちと一緒に生活していないため、一人になった場合、防犯・防災TEL、振込詐欺等について、注意や気配り等がほしい。
JR奈良線の複線化、城陽さんさんバスの増便。河川氾濫時の避難所の増設・周知。	
公共交通機関（バス等）が断たれると、まちはだんだん廃れるのではないかと不安になる。いずれ車も乗れなくなってくると家から出掛ける気持ちもなくなってくるのではないかとと思う。	
バス等の公共交通機関の増便。	
親が車の免許証を返納せざるをえなくなった時、買物等はタクシーもしくは徒歩で行くこととなります。将来の夢を考えると、「どうしても返納できません、頑張るわ」という言葉は、少し怖いです。何とか家にこもらないで済む策を考えて下さい。親は近鉄駅からの小型バスの運行は助かっていると言っていますので、なくさないでほしい。転勤先やそのほかの場所に行っても城陽市は知られていません。悪いことではなく、映画の撮影現場とか何か有名なことで知名度が上がれば良いと思う。	

子育て	<p>今まで待機児童はなかったが、今はできてきていると聞いています。保育環境・子育て環境の充実に力を入れてほしいです。子どもを育てやすい環境にしてほしい（以前、高齢者の多い地域に住んでいました。子育て世代がほとんどおらず孤立していました。その上、「よそ者」扱いされ、嫌がらせもされ、住みにくい土地だと思いました）。アウトレットや高速道路の建設で交通量が増える。人が増えて、住環境が悪くなりそうなのがとても嫌です。</p>
	<p>保育園の増園。城陽市に産婦人科がないので、出産可能な施設を作ってほしい。</p>
	<p>城陽市には産婦人科がないので、城陽市で子どもを産むことができない。何か急用があった時に、電車やバスを使って隣の市町に移動しないといけないので、考えていくべきだと思います。</p>
	<p>保育士の増加（給料増や待遇の見直し等）。高齢者住宅の増加。</p>
	<p>人口増加となる要因が現状では少ない。子育て世帯に対する支援方針の見直し。名産と言えるものがない。「ない」のではなく、発信力不足の可能性も否めない。今さら、観光資源を増やすことは出来ないで、住宅環境をメインに発展していくしかないで、子育て世帯に対する支援方針の見直しを中心にまちづくりに取組むべきであると考えます。</p>
	<p>城陽市に住むと子育てがしやすい、公園などをもう少し工夫したり、室内の遊び場を増やす、小中高の支援等がもう少しあれば、住む人が増えると思う。あとは交通が充実しておらず、住みにくいとの意見が多く聞かれる。農業が増えてほしいが、同時に交通や商業も発展してほしい。農業は城陽市の良い所、強みなので、多く残して欲しい。高齢者がかなり多く若い人が少ないのが問題である。</p>
	<p>子育て環境は大変充実していると思いますが、若い夫婦が安心して子どもを産める産婦人科がないため、他の地域へ移っていくというマイナス面があります。私は佐々木クリニックにて二人の子どもを産みましたが、その子ども達が適齢期になった今、この城陽市で赤ちゃんを産める産婦人科がなくなってしまいました。どうにか、産婦人科のみの診察は残っていますが、産科が消えてしまいました。</p>
	<p>安全・安心のまちづくりをし、子育て環境と教育環境の充実を図ることにより、城陽市の人口バランスを若返らすと、まちが活気づくのではないかなと思う。</p>
	<p>久世平川地域は公園が少なく、交通量の多い道を通らなければ公園がなく、線路もあり遠い。子どもが減っていくとはいえ、やはり子育て環境は必要である（城陽市が中学まで給食があるのはとても良い）。</p>
	<p>在宅時の児童の遊び環境が良くない。子どもたちがもっと自由にのびのびと遊べる場を地域ごとに作れたら、以前のように年上・年下の子等が混じり合って交流できれば、「いじめ問題」が少なくなるると同時に児童の知能や体力増進に寄与するものと考えます。</p>
	<p>ども小学生で3年生以降、公園ではなかなか楽しめない。このことから、外で遊ぶことがないので家の中でゲーム等となる。大人が連れて行くことができる休日は木津川運動公園があるが、平日はなかなか難しい。体を動かすことが大切な小学生時代の遊び場が近くにあればと思う。企業が来てくれたら働く場の確保もでき、市の財政も良くなり、若い人が来てくれると思う。近所がどんどん高齢化が進み、未来が心配である。</p>
	<p>知名度を上げて、子育て環境を充実させることで、人口を増やす活動をしてほしい。高齢者福祉を充実させて、高齢者にも優しいまちづくりをしてほしい。</p>
	<p>小学校、中学校の無償化等、子育てで負担を減らしていくべきだと思う。医療も同様。</p>
	<p>高齢化が進むなかで、子育て・教育環境を充実させることによって市の若年化を促進し、未来のあるまちになると思います。</p>
	<p>子育て世代が城陽市に住みたいと思えるように医療費や保育園などを充実させてほしい。結婚や出産した際のお祝い金などがあると嬉しい。</p>
	<p>学校のいじめ問題や教師のモラハラ等、相談するようところやアンケートを増やす。富野荘や寺田が近鉄で各駅しか停まらず、定期も買えないので不便。せめて、定期は買えるようにしてほしい。さんさんバスが1時間に1本は不便すぎるので、せめて2本にしてほしい。城陽のコミュニティセンターのイベントがしょぼすぎる。年寄りしか楽しめない。料理やバザー等、もっと若い母親等も楽しめる内容にしてほしい。</p>
<p>情報が少なく、分かりづらいことが多いような気がする。教育についてもいじめ問題とかで学校側だけに任せないで、もっとオープンにならないと経験上、不信感だけが残っている。</p>	
<p>少子高齢化による若い世代の人口が減少しているなか、子育てしやすい環境を提供して若者の人口増加を図る。住民間のつながりは大事だと思うので、地域の催しを通して、お互いに助け合う場を多くする。新名神高速道路の開通に合わせてイベントの開催。ゆるキャラじょうりんちゃんの活用。</p>	
<p>待機児童の改善。</p>	
<p>高齢者がこの先増えていくので、福祉を充実し子育てしやすい環境を整えることができれば、市の人口は増加すると思う。若者は仕事に就くと、市内や都会に出ていくと思うので、高齢者、子育て世代にとって住みやすい環境を作るのが良いと思う。</p>	

子育て	分娩のできる産婦人科を誘致してほしいです。
	高速道路の延伸により、色々な企業や商業施設もできていくなかで、若い世代が移住して来ることも考えられるが、市内に産科がなく、子育て世代が移住しにくい環境なのではないかと思えます。市内に産科・小児科が連携しているような病院ができれば、子育て世代も安心して住めると思えます。
	保育園、託児施設を増やす。日・祝日保育の充実。
	具体的支援策は現在思いつかないが、未来をつくる子どもたちが安心して暮らすことのできるまちづくりが必要である（例、医療費等）。
	保育料が無償化になるので、保育園を新たに作ってほしい。入りたくても入れない方々がいる。
	子どもがADHDです。軽度のため手帳等はなく、いわゆるグレーと呼ばれるやつです。見た目では分からない、話しても頭は良いが体が動いてしまう。他人に迷惑をかけるし、学校に行きたくないと泣いた日もあります。しかし、こういった子ども達に対する理解は少なく、ただ、ちゃんとした子どもと見られます。学校からの電話も何度もあり、仕事中に帰ることもあります。時給で働く私には大きく給料が減ってしまいます。国や市はこのようなグレーの子を持つ家庭に対して何の援助もしていないと感じませんか。
城陽市に住みたいという若者を増やすため、子育てのしやすい環境作りや魅力あるまちづくりが必要であると思えます。それをすることで、老若男女すべてが良い循環になり活性化し、幸せな生活が送れると思えます。	
教育	教育においては、小・中学校での英語教育。民間の人材をもっと積極的に使うべきである。リタイヤした海外経験の豊富で、給料を重視せず安価で優秀な人材が地元がたくさんいるはず。道路においては、右折レーンがないという理由だけで不要な混雑が多発しており、何とかしないと、たくさんの人々が時間を無駄にされる。
	各小中学校で支援学校を持ってほしい。通うのが遠くて不便。
	小中学生に、城陽市の地場産業に触れさせる時間を作る・増やす。
農業	高齢化社会を迎え、休耕地等が増え、農業の活性化を考えると道の駅を設置し、若い農家世代に農業の魅力を発信してもらい、休耕地を活用し、新しい農業生産を見つけてもらいたい。
	城陽市の特産である野菜やお花、産業の知名度が低いと思えます。まちの素敵な自慢できる所を多くの人々に来てもらえる観光を考えられたらいいと思います。
	城陽市の特産物等を使ったものづくり、お菓子づくり。
	城陽市にはとても美味しいいちじくの畑がたくさんあります。ぜひ、このいちじくをいつまでも食べられるよう継承して行ってほしいです。高齢で障害者である私ですが、最近では近鉄富野荘駅にエレベーターが設置されてとても助かっています。これからも住みよいまちになっていくことを願っております。
	城陽市に転居してきた時から、知人に城陽市のいちじくを送っていますが、去年は畑が減ったと言われ、いつものところでは購入できませんでした。寺田いも等、城陽市の農業を守っていただけたらと思います。夫が高齢障害者なので、まちに出るといろいろ不自由を感じます。
	農業に関心を寄せるために、地産地消や農作物の情報を発信する。農家の方に話を聞く、その仕事の方に意見をいただき、それをしっかり取り入れる。
	農業については、寺田いもやいちじく等の新しい食べ方、菓子（スイーツ）の開発を企画し、インスタグラムで発信する、道の駅等での発売を考える。商工業については、金銀糸を使って防寒服、冷却服等の開発を試みる。導電性の高さを利用して、AI産業等に活かす。ワークライフバランスの推進については、子々孫々が続けて暮らしていける地域づくりを目指す。高齢者・障害者福祉施策については、ゲーム、アニメ等の製造・販売・開発の特区分区づくりを目指し、これを観光資源にする。
地元で採れた野菜等の売場をスーパー等で広げてほしい。	
現在、生け花に関係しています。城陽市の花、カキツバタ、はなしょうぶ、カラー、蓮等、水生植物等を年々継続する人が少なくなっているように思うので、継続して行ってほしいと思えます。また、私の住んでいるところはバス停留所までは坂道のため、少々時間が掛かります。バスの回数も気になり、高齢になって車の免許証を返納した時の交通機関を利用する時が気掛かりです。	

商 工 業	<p>城陽に長く住んでいる身としては、平和で住みやすいと思うが、仕事でこっちに出てきている人の話を聞くと、よく「何もなく不便」と聞くので、急行がもっと停まる駅を増やしたり、ショッピングやテーマパークまではなくても、お金を使う施設があれば、人が増え経済的にも回り、活気づくのではないかなと思う。</p>
	<p>地場産業については周知活動、職業体験、後継者募集を行う。特に周知活動については、城陽市内、その他の市町村、京都府外に対してインターネットを活用して行う。地場産業を体験学習等で教育にも取り入れる。</p>
	<p>地場産業の活性化。安心・安全な生活が子どもから老人まで出来る暮らし。</p>
	<p>どの項目も伸ばしていきたい。子育てと介護をしながらも社会に出たい、収入を得たい方々のためにも城陽市の地場産業の継承・育成と、起業支援の充実で就労につなげられたと思います。交通費支給、通勤時間の削減、子どもや家族が体調が悪くになったら、すぐに学校などへ駆けつけられる距離、職場の理解、人を育てることへも環境の良い城陽市であってほしいです。</p>
	<p>金銀糸を使ったちょっとした土産物を作ったり、てん茶を使った商品等を作って、地元の特産品とかでできれば良いかと思います。</p>
	<p>安いスーパーが国道24号線にできてほしい。子どもの待機児童を何とかしてほしい。</p>
	<p>企業誘致と起業支援により、若者が定着し生活しやすいまちにする。JRの複線化。</p>
	<p>企業誘致では、日本でも有名な企業を誘致したい。そのために、星和電機をもっとアピールして、電気を使う企業を誘致する。まちの魅力発信・知名度向上のために、五里五里のワードを使い、ゴリゴリボディビル大会を開催し、マッチョのまちにする。</p>
観 光	<p>10年毎での未来像（ビジョン）を市民をはじめ発信する。観光（農産物）は通年ではなく短期であるため、1年を通じた観光資源を新たに育てる。食文化を新たに育てる。</p>
	<p>JR城陽駅のバス停で待っていた時、旅行者らしい60代の男性から、城陽市は「壱輪」のまちですかと尋ねられ返答に困った。壱輪らしい物が見えているので、私は「そうです」と言うのが精一杯で説明出来なかったことがある。観光資源はあると思うので、上手に発信したいものである。</p>
	<p>奈良は宿泊施設が少なく、京都市内では飽和状態と聞いています。城陽市の五里五里の位置を生かして、気軽に利用できる宿泊施設があると、城陽市を基点に動く観光客も増えるのではと思います。それが宿泊だけでなく、関連する方面に影響があるようではないかと思っています。</p>
	<p>特産物のブランド化や歴史的建造物等をSNSにて、例えばアニメの聖地巡礼のように魅力発信するなど、時代の波に乗り、スマートに行ってみたい城陽になるよう変化していくまちづくりを期待します。</p>
	<p>観光資源、特産品等の情報発信。ブランド力向上の取り組みや、府内外への情報発信、地域活性化イベント等のアイデアをこの会議等で集めると良いのではないのでしょうか。インターネットアンケートでも良いと思います。宅地開発や道路整備は同じくらい自然環境保全の取り組みを検討していただくと良いと思います。</p>
宅 地 開 発	<p>商業施設の誘致（予定）等から、城陽市の認知度が上がってきていると思います。城陽市に来ていただく方々にも情報発信して、魅力あるイベント開催（お祭りや農業体験、文化財を巡るミニツアーなど）をしてはどうでしょうか。</p>
	<p>私は食べ歩き、特にラーメンが好きなのですが、城陽市には美味しいラーメン屋がたくさんあります。具体名を挙げると「あっぱれ屋」、「たけ井」。この2店は食べログで常に上位にランクしており、「あっぱれ屋」は全国No.1にもなっています。ほかにも、「台湾ラーメン屋」、「ほそかわ」、「第一旭たかばし」等知る人ぞ知るラーメン激戦区になっています。京都市の一乗寺エリアのように、ラーメンのまちとして売っていくのもありなのではないかと思っています。</p>
	<p>空き家、築年数の長いアパートの解体で、新宅地スペースの確保、道路整備で地域活性化を図る。</p>
	<p>宅地開発で若い人、子どもを増やし、道路や子育て、教育等に力を入れてどんどんそこに住みたいと思えるまちへしてほしい。学校はもっと学力が上がる教育をし、文化パルクなどの子育ての場をもっと充実させていただきたいです。子どもが安心して遊べるよう、公園の整備やカメラを付けてほしいです。</p>
	<p>数年後に宮ノ谷への団地への引っ越しを考えていたが、現物の古くささ、ボロさ、陰気くささに「ここに住んだら病みそう」と感じた。負のオーラが濃く、古すぎる。建て直しおよび新たに建設をして団地を増やして下さい。あんなにボロかったらそもそも募集に乗って来る家庭自体少なそうです。</p>
	<p>小規模の開発ではなく、大規模な宅地分譲を行うべき。既存の宅地には新しい人が入りづらいため、新しいまちを作るべき。新しい人だけでなく、そこには新しい仕事も生まれる。</p>
<p>自然環境の良い住宅地があった城陽市が、高速道路の充実により便利になりますので、さらなる発展のため資源を生かした環境の良い「NEW城陽」のまちづくりが大事になってくると思います。</p>	
<p>まだ城陽市に引っ越してきて1年も経っていませんが、土地が安いので若い人が来やすいのではないかと考えています。宅地開発や交通機関が充実すると良いなと思っています。</p>	

施設	もう少し親子が気軽に行ける施設が近場にほしい。文化パルク城陽のなかで平日で親子で行けるイベントを行ってほしい。
	市役所や子育て支援センターが駅の近くではなく、とても行きづらい。久津川はバスもあまり停まってくれないし、子連れではなおさら利用しにくい。駅前の道路が狭すぎて、ベビーカーも通れない。こういう場所をなくしてほしい。
	若い世代の人達が好むような商業施設やスポーツが楽しめるような施設を充実して整備していけば、城陽市の魅力が増していくと思います。
	東部運動施設や公園、文化パルク城陽、木津川河川敷をリンクさせて、ラン、ウォーキング、サイクリングの名所となるよう整備してはどうか。車道とは完全に分離し、安全で快適な歩道・自転車道を城陽市全体に広げる。トイレ・シャワー等の設備も設置し、駐車場や休憩所を設けて、そこにグルメ店や軽食店、特産品店を誘致する。
防犯・防災	防犯・防災を想定した訓練。
	企業誘致等新しくこの城陽市に、地元以外の方々が来られるなか、官民ともに防犯等について、同時に対応していけないと治安の問題につながる。教育環境はこの城陽市から未来の大人たち、現在の大人も含めて、正しい教育、道徳を身に付けることにより、人の質の向上がまちづくりにつながる。人が大切。
	防犯カメラの設置等。
	城陽地方は災害が少ないため、準備して備えなければと思います。
	災害の時、南部コミュニティセンター等は2階建てで普通の住宅と同じなのですが、避難場所としては適しているのでしょうか。
	全員が孤立せずに避難できること。 防犯カメラの設置箇所の増加。
その他	優先順位を付け、その具体化の方策を検討・協議し、計画的に進めることが必要と思います。
	直売所の充実。シルバー人材等と協力した見回り。
	子どもから高齢者まで住みやすいと思える環境を整えることで、市の財政や環境が良くなり、今より人口が増えると思う。
	企業誘致を行い税収を増やし、他の市町村より高い市民税を下げる。市の各部署ごとの予算を使い切りではなく削減する（市議会議員の削減と予算削減）。市民にもっと分かりやすく支出などを細かく見えるようクリーンにしていくべき。保育士、福祉で働く人の待遇改善、削減した部分から手当や補助を出す（今の待機児童数の改善を早急にすべき）。
	高齢者が多いのでお年寄りの方たちが安心して住める城陽市になったらいいと思う（施設の改善）。
	「城陽市と言えば〇〇」と言えるような名物・名産を作り出す、生み出すことが出来ればいいのではないのでしょうか。
	今、30代なのですが地元から離れていく人があまりいません。むしろ、戻ってくる人が多いような気がします。きっと、都会へ出やすいし離れるの必要性を感じないからだだと思います。なので、城陽市で働きやすくなれば良いと思います。城陽市にいても、京都市へ働きに出たり、工業団地へ行く人も多いので。せっかく、若い人がいてももったいないと思います。
	市民と城陽市に住んでいる外国人の交流。一緒にボランティア活動をしたり、城陽市の観光を紹介したりします。
	環境について、環境基本条例が制定され、昨年度「城陽市一般廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」が公布されていますが、統計の城陽市の将来像「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」の実現のためにも、さらにまちの美化の条例も検討されてはどうか。教育については、ソフト・ハード面での充実。青谷方面へのバスの運行。
	若者の結婚離れが気になる。
	現状、現実に根差したある程度の未来像（予算も含め）に、学識者や若い人の意見を取り入れる。
	道の駅は、城陽の第二名神の登口で作れば良いと思う。計画の青谷ではマイナスではないかと考える。
	妻は1種1級の障害者です。市役所の観光課に青谷の梅を見に行きたいと言うので、通行証をもらいに行ったら出せないと言われた。障害者は一生梅を見に連れて行けないのですか。
	魅力ある城陽市にする。京田辺市の人達に話を聞くと、うらやましいと思うことが多々あるので参考にしてほしい。
城陽市独自のものを市場に打って出るくらい、そのものの充実をすることにより、研究開発が必要であると思います。	
住みやすいまち、住みたいまちを目指して高齢者等の力を借りながら、安全・安心なまちづくりから始める。	
城陽市の税収の増加と支出のバランス。	
近隣住民（府県）から城陽市へ行ってみたいと思われる衣・食をターゲットにしたまちづくり。点在せず、まとまりのある集客力を意識したまちづくり。	

その他	センスのある企画を効果的に発信する（NEW城陽というワードに中身が見えない。抽象的すぎる。そもそもNEW城陽が世間的に認知されていないのではないか）。
	一人暮らしで孤立している人に何かできないか。介護保険の対象でもなく一人で過ごしている人にボランティアで何かできれば良いなと思います。元気で時間がある高齢者も大勢います。
	高齢者の割合が急速に城陽市でも上昇しています。高齢者のうち、ある程度のことは自分でできるが、ちょっとしたさり気ないケアが必要な方が増えています。自治会だけに任ずるのではなく、市全体の流れのなかにそういった方々も無理なく安心していただけるような取り組みがあれば良いなと思います。
	住みよいまちづくり。
	人口減の歯止め。
	新名神高速道路の開通を機に大きく街並みが変わり、便利になったと思います。「NEW城陽」と言えど、今までの城陽があってこそその今、そして今後だと思うので、城陽市ののどかな姿も大切にしていきたいと思います。
	元気な高齢者を積極的に活用し、本人にも生きがいを持てる地域としての充実を考えてほしい。
	高齢者が増えてきて、介護施設が足りなくなっているのを改善する。少子化と言うが、保育所に入れない子ども達がいるので、子どもを保育所に入れて仕事復帰できるようにする。
	現在、城陽市で生活している人々が住みやすいまちになることが一番。そのためには、「総論賛成、各論反対」でまとまらないことも多々あろうかと思うが、まどろっこしいけれど、時間を掛けて合意形成を図ることが大切である。反対意見にも丁寧に対応して、妥協点を見出す努力が必要であろう。
	国の政策や専門家に頼らず、職員の意欲と叡知でローコストで効率の良いものをつくる市役所に改革して、市民の信頼を得て下さい。
	知名度を上げていくことが重要になってくると思います。
	子育てと介護を同時に行う家庭が増えていくと思うので、金銭的にもヘルパー等の介護施設等のサポートを分かりやすく発信し、現在困っている人の声に敏感な行政になることが必要だと思う。防犯・防災のためにも人との交流が取りやすいイベントや無料の習い事など、隣近所の顔が分かたり、まちなみの美観を保つことが大事だと思う。
	城陽市は財政難のため何か対策をしてほしい。城陽市の知名度アップ。
	どういう方針でやっていくにしても、市民に考えが浸透しないといけなないので、ビジョンの明確化と発信力を強くするために具体的な行動をとっていただきたい。
	新生児訪問に来ていただいて助かった。幼稚園に行く前の子どもだったり、高齢者だったり在宅にいる人を対象に希望者だけでもいいので、訪問や社会とつながれるような案内がほしいです。自分で調べないと分からないように、なかなか参加するのに時間が掛かる。
	城陽市のなかでも木津川沿いの自然豊かで空気も良く、周りの住民の人達との交流も温かく、特に不満や困ったことはありません。70歳代ですが、車にも乗っていますので「住めば都」を噛みしめて暮らしています。
	100歳時代に突入してきましたが、私達がその年齢に入った場合、安心して生活できる環境を充実してほしい。
城陽市は小さな市ですが、京都市に比べてもはるかに魅力的な市だと思っています。子育てを機に3年前、京都市内から引っ越してきました。地元の友人達には「なぜ城陽市？」と言われることが多くありますが、その通りだと思います。魅力を知らないから仕方がない。こんなに素敵な城陽市を知らないなんてもったいない。10年後、20年後に気づいても遅いぞと思いながら、城陽市の魅力を力説する日々です。みんなに城陽市の魅力を知ってほしい。	
京都サンガの知名度向上。女子野球の知名度向上。	
京都市と奈良市の中間にある城陽市をもっとアピールすべき。	

注。回答は原文のまま掲載しています。

第8章 城陽未来まちづくり会議参加者のアンケート結果

(1) 城陽未来まちづくり会議に参加してみて

「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」終了後に行ったアンケートによると、回答者45人のうち、44人が「良かった」と回答しています。

	良かった	良くなかった	どちらでもない	無回答
件数	44件	0件	1件	0件
割合	97.8%	0.0%	2.2%	0.0%

(2) 今後の「NEW 城陽」について思ったこと、感じたこと

今後の「NEW城陽」について思ったこと、感じたこと
色々な年代の人とがつながりあって良いと思います。
情報発信（良いイベントは既にあると思うので、市民が興味を持つような発信が必要だと感じた）。具体的な計画策定と分かりやすい説明。これから城陽市はこうなりますみたいな説明がないとどこに向かっているのか分からない。
「NEW城陽」は多くの可能性を秘めていると思いました。その可能性を活かすためには、これまでの課題である道路整備、人口増加が大事だと思います。人口増加については、各種イベントを通しての市のPR、そして、そのイベントの情報発信（SNS等）により、良いものにしていけると考えます。
新しいこと、改良することはもちろん大賛成です。それと同じく古き良きもの、継承されるものも大切に、城陽色を濃く、鮮やかにできたら良いと思います。老若男女が皆、元気に過ごせる城陽であり続けてほしいです。
道路の整備、商業施設の誘致等、変わってきていることを実感していますが、これからの城陽について考える機会を得られて良かったと思います。市民の声を聞くという市長のご意見から実現した会議があることも初めて知ることができました。
SNSを用いてPRする。道路整備、ミラーの設置（調整）を早急に行う。
城陽市、市政に興味を持つ場となった。様々なイベント等の発信がされているが、知らない市民が多いので情報発信を活発に行う。
参加してみて城陽のまちを少し勉強できたかなと思います。
若者の住みつくまちづくり。
大型プロジェクト中心でなく、道路、浸水対策、交通、教育、福祉等、現市民の生活環境の向上を第一に考えてもらいたい。また、市の施策や文化バルク城陽、コミュニティセンター等の行事の周知、市民の声を吸収するやり方を工夫してほしい。城陽市は住みやすい、市民の声が反映されるまちだというイメージが広がれば、自ずから城陽市に住みたいという人が増えると思う。
話しやすく楽しい会議でした。人数的にも皆が発言できる数だと思いますので、今後も続けていただけたらと思います。
今日の会議での声を具体化してもらいたい。一人だけが思っていることは他の人も思っていたと分かった。
私が感じていることを皆さんも感じているということが分かり、少し安心というか、嬉しかったです。今回55人に選ばれたことはすごく良い経験でした。私達の意見が少しでもお役に立てればと思います。また、こういう機会があれば参加したく思います。
城陽に住み始めてまだそれほど長くないので、昔から住んでいる人の声を聞いて良かった。まだまだ城陽の知らないことが多いと実感した。もっとこうした会議を増やせば良いと思う。
このような会議をすることで、内容はもちろんだが住民の意欲を高めることができると感じた。市民が議論することは大切だと実感しました。

今後の「NEW城陽」について思ったこと、感じたこと
産業を発展させ、税収を確保し、市の運営を安定させることは重要であると思う。そのうえで、住民の住みやすさの確保を両立することが重要であると思う。
今後、都市化へと進んでいく城陽に対して、既存の住民の不満（交通環境等）をどう対策、対処、解決していくかをしっかり議論していくべきだと感じました。
近鉄寺田駅の名前を「近鉄城陽駅」に変更する。現寺田駅を文化パーク城陽付近に移転させる。
現在、城陽市で計画されている将来計画について新たな認識を持つことができた。定期的に年1～2回、地区毎に将来計画（短期・中期）の説明会を開いてほしい。
市への要望は55人会議でなくても、苦情、自治会の要望が市議員から入ると思う。そのため、苦情を申し出るより、将来のビジョンを出すことに努めた。
城陽だけの問題ではないが、高齢化の深刻さと今後の対応が必要なことを強く感じた。
多くのプロジェクトがあるが、実行を早くしてほしい。
市発展の心強い意見が多く、すべて可能になれば素晴らしい市になります。
もっと若い人を選んだ方が良いと思う。
道路を広く西から東への一つの道路にする。バイパスからバイパスへの道が通ると良い。企業が少ないので、多くなれば人も増える。
皆さんの意見を聞いて参考になりました。
参加の回答を迷って「参加」で出し、会議に参加し貴重な経験ができました。普段、お話しすることのない方々とお話しでき、あっという間に時間が過ぎました。何気なく、日々生活していましたが、地域のこと、城陽のことについて見つめ直す良い機会となりました。今回グループで出た意見を少しでも行政が取り組んでいただけたら嬉しく思います。
様々な世代の考え方を知ることができた。
明るい未来が実現すると感じました。
もっと議論できるものをどんどん激論すれば、良い考えが生まれるのではないかな。
同じ人が何回か参加してテーマを絞って会議を行ってはどうかな。
寺田いも、梅、花共々、他市に誇れるほどの規模でなくなってきた。今後は団塊世代がいなくなった後の若年世代の住みやすいベッドタウンとしての城陽を目指すべきと感じた。幸福感が世界一のプータンを精神的に目指す。
この歳になってみんなと会話できたことに感謝します。若い人々に好まれるまちづくりのために協力したいと思います。来年も選んでほしい。城陽に大きな道の駅を作って下さい（寺田いも、いちじく、野菜等）。
アウトレット誘致や駅周辺の整備等、様々な事業が進んでいるようですが、市内で生活している人達の希望を正確に反映している内容であってほしいと感じました。今回のような場を設けていただくことは、とても大切だと思います。
今まで考えたことがなく、正直良くも悪くも思っていなかったけれど、今日のおかげで色々知ることができて良かった。
今日の意見が反映されることを切に願います。
グループによって議論された課題もかなり違うと感じました。私のグループでは交通面（特にJR奈良線や道路の幅）に対する意見がかなり多く出ており、早急に対処してほしい問題だと感じました。
城陽の情報発信が必要。
議論は出るが、それを実現することは難しいと感じました。

今後の「NEW城陽」について思ったこと、感じたこと
テーマはもう少し絞って、各班に違ったテーマで話し合った方が良いと思う。なぜ、民間の金融機関の方が、司会として仕切っているのか分からない。なぜ市役所がやらないのかと思う。
色々な意見が聞けて良かった。まちづくりについて考える機会となったので、またこうした機会があると良いと思う。
もっと安心・安全な生活ができる市に発展してほしい。
色々な発展や進化を楽しみにしています。
発展していくまちだと思う。緑も多く住みやすいが、交通面で不便を感じる。特産品のアピールを多くしてほしい。

注. 回答は原文のまま掲載しています。

(3) 城陽未来まちづくり会議の運営について

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと
今回初めてこういう会議に参加させていただきました。なかなか思いも伝わりにくいですが、良い経験ができました。
市民の会議に市役所の方だけでなく、銀行が一緒になって進行して下さることが大変心強くお思いました。何をしてもお金が要ります。銀行の力を借りなければ、何も実行できません。今回の会議の内容を市と銀行がどこまで力を入れて下さるか、見守りたいと思います。
京都銀行の皆さん、ごくろうさまでした。ありがとうございました。
様々な人の城陽市についての思いを聞いて良い経験となった。
市民が参加することにより、市の運営に興味を持ったり、地域の情報を知ることができるので有益だったと思います。
多くのスタッフの皆様、お世話様でした。スムーズな運営で良かったと思います。
長く住んでいる人の声を聞いて良かった。
進行が上手く回っていたと思います。今回の話し合いが無駄にならないよう、反映して行ってほしいと思います。
運営がよくできている。
京都銀行の皆さんの仕切りがとても良かったです。丁寧かつ的確、そして頼りになる仕切りでした。
段取りや準備ができており、スムーズに進行できて意見発表しやすい雰囲気を作ってもらい助かりました。
思っていたよりも若い世代が参加していて、頼もしく感じた。若い世代と高齢世代で意見が分かれる部分もあると思うので、他の班に意見を聞く時間があったのも良かったのかなと思います。
このような機会を作ってください、城陽市の一市民として意識が高まりました。ただ住んでいる感覚でありましたことを心改めていきたいと思いました。参加することに意義がありました。ありがとうございました。今後もこのような会議の運営を通して城陽市民のため、城陽市のため、よろしく願います。
生活インフラの整備を望む声が多いことに気づきました。大きな設備の誘致とともに、改善を希望します。
意見を言っても資金的に厳しいと思うので、ここまでの会議をしてもと思う面があります。少しずつ発展できるところからしていきます。また、新名神高速道路の開通の波にしっかりと乗れるように取り組んでほしいと思います。
市民の発表に市長がメモを取っておられたのは好印象だった。全体進行とグループ内進行があまり上手ではなかった。グループ内で沈黙する時間が長かった。
意見に対するフォローアップ、前回の意見に対しての回答等があると良いかと思います。

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと
初めての参加で知らない方と意見交換できて嬉しかった。家に居るとこのような問題に取り組むことも少なく、良い刺激を受けられました。ありがとうございました。
プレストの手法をファシリテータの方がしっかり実行して、より多くの声を引き出せるようにしたら良いと思う。
様々な意見を集約する場として、会議は有意義であると思う。時間はもう少し短く（1時間程度）にすることができるのではないか。
マイクの設定が悪かったのか、時により話の聞き取れないことがあった。同地域の人をグループ化したのは、共通の問題があり、話し合えた点が良かった。
城陽市民は城陽に住んでいることは幸福であるが、類をみない計画を作成し、実践してほしい。そのためには、行政に関係する人の動きも必要であるが、市民の協力を得ることが必要である。
各テーブルに市会議員の方が出席されたら非常に良いと思います（30分位席に着いていただければと思います）。
城陽に住みたいと思うまちづくりをしてほしいです。若い人が喜んで来て下さるように期待しています。城陽の良いところをもっとアピールしていく。声を上げることが大切。
今まで何回か開催されていたようですが、いつでも機会をみて今後も続けてほしい。
マイクを使う割に声が聞き取りにくかった。テーブルまわりの京都銀行の方が上手にまとめて運営してくれて良かった。初めて知り合った人と1日でも話ができて楽しかった。
案内文書、アンケートが届くまで過去にも、「城陽未来まちづくり会議」が開かれていたことを知りませんでした。広報は毎回、目を通してはいるつもりでしたが、流していたようです。
テーマが大きすぎて夢を語っている感じだった。
時間配分も良く、議論が進んだと思いました。
なぜ、会議の運営（今回は京都銀行であるが）を外部の人に依頼されているのか疑問。
55人のメンバーにもう少し若い人を選んでほしい。問題点を挙げて、会話するようにしたら良いと思います。
普段接することのない方々と、住んでいるまちについて話をするのができて、とても貴重な体験をさせていただきました。
ポケモンGOのイベント開催をお願いします。
財政について、テーマを設けて議論があったら、各自が夢のように話すだけでなく、具体策が出ると思います。
地域別にグループが作られていたのが良かったです。実際に住んでいる地域の課題を深く議論できたり、家が近いとトークもできて、アイスブレイクの役割にもなっていたと思いました。城陽市の資料は当日より前に配布されていても良かったかなと思います。
これからも続けてください。
楽しく一日を過ごすことができました。
市民の意見を直接聞けるので、良い機会だと思う。
色々な意見を聞いて良かった。
出席率の確保が大事だと思う。
楽しかったです。
良かった。これからも参加型の方向でお願いします。

注。回答は原文のまま掲載しています。

城陽未来まちづくり会議（55人委員会）報告書
令和2年（2020年）1月

【編集・発行】

城陽市 企画管理部 秘書広報課

〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口 16番地、17番地

TEL 0774-52-1111（代表）

FAX 0774-56-3999

